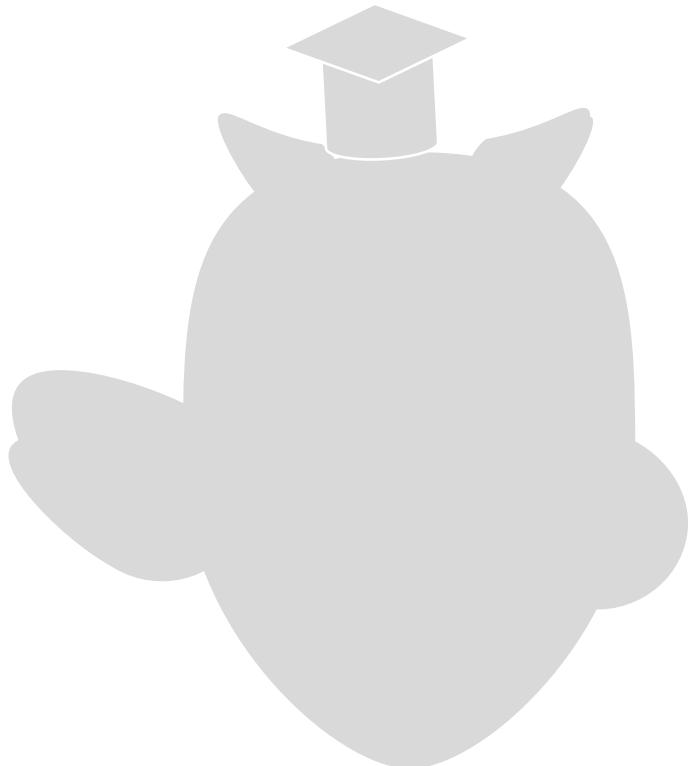


令和8年度版

# シラバス

履修登録の流れと各科目の説明



# 目 次

◆ 未来の自分を作りこなす ..... 02
◆ シラバスを読む上での前提知識 ..... 03
◆ 履修登録のながれ
1年次の時間割を作成する手順 ..... 04
2年次以降の時間割を作成する手順 ..... 07
◆ その他 ..... 10
◆ 科目説明
・ 国語 ..... 12
・ 地理歴史・公民 ..... 17
・ 数学 ..... 24
・ 理科 ..... 29
・ 保健体育 ..... 36
・ 芸術 ..... 42
・ 外国語 英語 ..... 52
・ 家庭 ..... 57
・ 情報 ..... 62
・ 商業 ..... 65
・ 総合 ..... 70
・ 総合的な探究の時間 ..... 78

# 未来の自分を作ってみよう

これから皆さんは、本校のたくさんの科目を選択して時間割を作成します。そして、選んだ科目を学校に届け出ることを「履修登録」と言います。このシラバスには、科目の情報と時間割を作成する手順、その際の決まりごとが書かれています。これらの情報を活用して、自分自身の時間割を作っていきましょう。

## (1) 卒業に向けて履修登録・科目選択をしましょう

入学した皆さん全員が必ず目指すのが卒業です。履修登録をすることは卒業を目指すこと、卒業を目指すことは履修登録をすることです。そして、卒業するためには必履修科目を含めた最低限の単位修得が必要になります。これらの最低限のルールをクリアすることが最初に行うことです。その上で、一人一人の未来設計に沿って科目を選択していきましょう。

## (2) 将来に向けて科目選択をしましょう

ホランド理論に基づいて自分の興味関心に合った科目を学習することで興味関心を深め、得意技を作ることができます。例えばCタイプ（事務タイプ）の人は情報や商業の科目を選択することで高校や大学を卒業した後の起業や就職につながるでしょう。映像技術を身に付けていれば何とかフリーランスでやっていけるかもしれないし、会計処理ができれば必ず仕事はあります。他にも、ものづくり、医療、芸術、語学など将来役立ちそうな技術や知識はたくさんあります。

## (3) 課題研究に向けて科目選択をしましょう

2年次の後半からスタートする課題研究では、一人一人がテーマを決め、自ら調べ、自ら発表していきます。その基礎になる知識や技能などはそれぞれが所属したゼミに関わる科目を中心に身に付けていきます。また、隣接の科目でやっておいたほうが良い学習もあります。自分の未来設計に照らし合わせた時にどのような科目を選択すると良いか、ゼミの先生のアドバイスを受けながら考えていきましょう。

## (4) 受験に向けて科目選択をしましょう

上級学校に進学するときは、課題研究を活かして総合型選抜や推薦選抜に臨むのが総合学科の生徒にとって効果的です。しかし、一般受験や大学入学後の学習のことを考えるとこれは選択しておきたいという科目があります。トレーニングや積み重ねが必要で科目の履修順序を押さえなければならない科目、多くの大学の入試で課される科目と一部の大学の入試で課される科目などがありますので、よく調査しておきましょう。

# シラバスを読むまでの前提知識

## ① 履修……授業への出欠席に関する決まりごと

履修とは、規定に従って登録した科目的授業を受け、出席が基準を満たすことをいいます。各科目の年間法定時数の3分の2以上の出席をもって履修を認めています。したがって、各科目の欠課時数が3分の1（下記参照）を超えると、その科目的履修が認められません。

（※法定時数(4月入学者の場合)：1単位の科目：12 2単位の科目：24 4単位の科目：47）

## ② 修得……授業へ参加し、かつ学習の成果を修めること

修得とは、学習の成果により単位が認定されることをいいます。（評定2以上）学校内では「単位をとる」と表現されることが多いです。卒業するためには74単位以上の修得が必要となります。

## ③ 評定

評定とは年度末の通知表に記載される学習の成果を表す「1～5」の5段階の数字です。

- ・ 評定「5」～「2」の場合 ・・・・・・・・・・・・ 修得○ 修得○
- ・ 評定「1」の場合 ・・・・・・・・・・・・ 修得○ 修得×
- ・ 各科目の欠課時数が法定時数の3分の1を超えた場合 ・・・ 修得× 修得×

## ④ 科目の種類

- ・ 必履修科目 ・・・ 履修をしないと卒業できない科目
- ・ 選択必履修科目 ・・・ 必履修科目のうち、学べる科目が選べるもの
- ・ 学校必選択科目 ・・・ 該当年次に必ず選択する科目
- ・ 自由選択科目 ・・・ 自身の希望に合わせて学べる科目

※「履修条件」がある科目もあります。条件に達していない場合は、履修登録をすることができません。

<例>「歴史総合」を履修済みでないと、「日本史探究」を履修することができない。

⇒2年次に「日本史探究」を選択したい場合は、1年次に「歴史総合」を選択し、履修しておく必要があります。

このようなことも考慮して、1年次にどの科目を選択するかを検討する必要があります。

# 履修登録のながれ

## 1年次の時間割を作成する手順

**ステップ①：1年次指定科目（1年次に必ず履修しなければならない科目）を確認する。**

以下の1年次指定科目により所属部での1日4時間×5日間は必履修となります。

教科	科目	単位数	教科	科目	単位数
国語	現代の国語	2	芸術 いずれか 1科目	音楽Ⅰ	2
公民	公共	2		美術Ⅰ	2
数学	数学Ⅰ	2		工芸Ⅰ	2
理科 いずれか1科目	科学と人間生活	2	外国語英語	英語コミュニケーションⅠ	2
	化学基礎	2	情報	情報Ⅰ	2
保健体育	体育A	2	総合	産業社会と人間	2
	保健A	1			

**ステップ②：理科の選択科目を決める（「科学と人間生活」または「化学基礎」）**

- ◆ 「科学と人間生活」を選択した場合…
  - ・「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のいずれか1つを2年次以降に履修する。
  - ・「科学と人間生活」と「他の理科科目」を同一年度に履修することはできない。
  - ・「他の理科科目」履修後に「科学と人間生活」を履修することはできない。
- ◆ 「化学基礎」を選択した場合…
  - ・「物理基礎」「生物基礎」「地学基礎」の中から2つを卒業までに履修する。

**ステップ③：芸術の選択科目を決める（「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」からひとつ）**

- ◆ 音楽系の内容を希望する人は「音楽Ⅰ」
  - ◆ 絵画や彫刻などの美しさを表現する作品づくりを希望する人は「美術Ⅰ」
  - ◆ 工芸作品（暮らしの中の道具など）を作ることを希望する人は「工芸Ⅰ」
- ※保育系の進路を希望する人は「音楽Ⅰ」の選択をお薦めします。

#### **ステップ④：3年間での卒業か、4年間での卒業かを決める**

卒業までには74単位以上の修得が必要となります。

- ◆ 3年間での卒業を希望する場合…

他部履修（選択科目）にて「3科目（6単位）以上」は選択してください。

- ◆ 4年間での卒業を希望する場合…

他部履修（選択科目）での登録は必ずしも必要ありませんが、2年次以降の余裕を持った履修計画のためにも、他部において「1科目（2単位）」程度は選択しておくことをお薦めします。

## ステップ⑤：ステップ④を踏まえて、他部履修（選択科目）で登録する科目を選ぶ。

他部履修は最多で「5科目（10単位）」まで登録が可能です。

※（★）の科目は必履修科目であり、卒業までに必ず履修しなければなりません。

内 容	登録科目名
・義務教育課程の国語を復習したい。 ・大学進学に向けた対策をしたい。	「国語プラス」
・社会（地理・歴史）をたくさん学びたい。	「地理総合（★）」、「歴史総合（★）」
・数学をたくさん学びたい。 ・理系大学へ進学したい。	「数学A」
・義務教育課程の算数・数学を復習したい。 ・大学進学に向けた対策をしたい。	「数学プラス」
・理科（物理・生物）をたくさん学びたい。	「物理基礎」、「生物基礎」 ※ 「科学と人間生活」を選択した人は、1年次に上記科目を履修登録することはできません。
・身体を動かしたい、ダンスを学びたい。	「ダンス入門」
・必修芸術選択（音楽Ⅰ・美術Ⅰ・工芸Ⅰ）を2つ学びたい。	所属部で選択した科目以外のものを選択科目の時間内で選択することができます。
・英語をたくさん学びたい。 ・大学へ進学したい。	「論理・表現Ⅰ」
・義務教育課程の英語を復習したい。 ・大学進学に向けた対策をしたい。	「英語プラス」
・ビジネス（商業）を学びたい。	「ビジネスベーシック」
・日本の伝統文化（茶道・華道・落語など）を学びたい。	「日本の伝統文化」
・S D G s を学びたい。	「S D G s 入門」

## ステップ⑥：教材費確認

教材費がかかる科目（家庭、美術、工芸、総合など）を選択する場合は、教材費の合計金額を確認し、必ず保護者と相談・確認の上履修登録してください。

教材費が期日までに納入されないと教材が購入できないために授業に参加できず、成績がつかない場合があり、履修・修得に大きな影響を及ぼします。

以上で1年次の時間割作成は終了です。

# 履修登録のながれ

## 2年次以降の時間割を作成する手順

**ステップ①：必履修科目（卒業までに必ず履修しなければならない科目）の確認。**

下記の科目が未履修だと卒業できません。

教 科	科 目	単位数	教 科	科 目	単位数
国 語	現代の国語	2	保健体育	詳細は下記参照	
	言語文化	2			
地理歴史	地理総合	2	芸 術 いずれか 1科目	音 楽 I	2
	歴史総合	2		美 術 I	2
公 民	公共	2		工芸 I	2
数 学	数学 I	2			
理 科 2科目 または 3科目	科学と人間生活	2	外 国 語	英語コミュニケーション I	2
	物理基礎	2	家 庭	家庭基礎	2
	化学基礎	2	情 報	情報 I	2
	生物基礎	2	総合的な探究の時間 (フューチャーデザイニング2)		1
	地学基礎	2	総合的な探究の時間 (フューチャーデザイニング3)		1

教 科	科 目	単位数	教 科	科 目	単位数
保健体育※ (体育)	体育 A	2	保健体育 (保健)	保健 A	1
	体育 B	1		保健 B	1
	体育 C	2	※「体育」は卒業までに7単位以上を履修する。 「体育 A」～「体育 E」の組み合わせ方は自由。		
	体育 D	2			
	体育 E	2			

**ステップ②：現在自分が受講している科目のうち、履修／修得できそうな科目を確認する。**

「学校外での学修による単位認定」（検定等）も含めて、修得単位数の見込みを立てること。

3年間での卒業か、4年間での卒業かを改めて検討する。

### ステップ③：翌年次における年次指定科目の確認

#### ◆2年次指定科目（2年次に必ず履修しなければならない科目）は次表の通り。

1年次と比べて年次指定科目が少なくなる分、自由に選べる科目的幅が広がりますね！

教 科	科 目	単位数	教 科	科 目	単位数
保健体育	体育B	1	総 合	ゼミナール2	1
	保健B	1	総合的な探究の時間 (フューチャーデザイニング2)		1
家 庭	家庭基礎	2	人間と社会		1

#### ◆3年次指定科目（3年次に必ず履修しなければならない科目）は次表の通り。

3年次での卒業を考えている生徒は、下記の卒業要件を満たすように履修登録をしてください。

教 科	科 目	単位数	教 科	科 目	単位数
総 合 的 な 探 究 の 時 間 (フューチャーデザイニング3)		1	総 合	ゼミナール3	2

##### <本校の卒業要件>

- ①修得単位数が74単位以上であること。
- ②高等学校での修業が通算3年以上であること。
- ③定められた必履修科目（**ステップ①**参照）を規定に従って、すべて履修していること。
- ④特別活動を履修※し、その目標からみて成果が満足できると認められること。

※ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事に参加すること。

- ⑤本校に1年以上在籍し、10単位以上履修していること※。

※本校における学びの中心は「ゼミナールに参加し、課題研究を行う」ことです。したがって、課題研究に伴う「課題の設定・調査・分析・発表」といった1年間に渡る活動を経験することが、本校の卒業要件の1つに定められています。

- ⑥卒業までに必要な授業料や諸費用を定められた期日までに全て納入していること。

#### ◆4年次指定科目（4年次に必ず履修しなければならない科目）は次表の通り。

教 科	科 目	単位数	教 科	科 目	単位数
総 合 的 な 探 究 の 時 間 (フューチャーデザイニング4)		1	総 合	ゼミナール4	2

卒業要件については、3年次指定科目の欄を参照してください。

#### **ステップ④：再履修の講座の履修登録について考える。**

- ・ 再履修とは各年次指定の必履修科目が未履修だったため、次年度にもう一度その科目を選択することです。また、そのような生徒のための講座を再履修講座といいます。
- ・ 2年次に再履修講座を登録するのか、3年次に持ち越すのかなど卒業要件に関わる重要なことは担任の先生と十分に相談してください。

#### **ステップ⑤：ステップ①～④を踏まえて選択科目を選ぶ。**

- ・ 他部履修は最多で「5科目（10単位）」まで登録が可能です。
- ・ 各科目の内容やその詳細はシラバスを参考にしてください。
- ・ 「必履修科目／選択必履修科目」の登録を優先することをお勧めしますが、そればかりだと、自身の興味関心や進路活動に必要な科目的登録ができないくなる可能性があります。翌年次・翌々年次までの履修登録を見据えた科目選択を行いましょう。
- ・ 科目によっては「履修条件」が存在するものもあります。条件に達していない場合は、履修登録をすることができませんので、必ず事前相談をしてください。

#### **ステップ⑥：教材費確認**

- ・ 教材費がかかる科目（家庭、美術、工芸、総合など）を選択する場合は、教材費の合計金額を確認し、**必ず保護者と相談・確認の上**履修登録してください。
- ・ 教材費が期日までに納入されないと教材が購入できないために授業に参加できず、成績につかない場合があり、履修・修得に大きな影響を及ぼします。

## ④その他

### 1. 講座調整について

- ・1つの科目に希望が集中した講座については、受講者の調整を行うことがあります。
- ・希望者が著しく少なかった講座については、その講座が募集停止となり、閉講となることがあります。

### 2. 履修登録の確定

- ・履修登録が年度末までに行われない場合、新年度の4月以降に在籍することは認められません。
- ・年度末までに授業料が納入されていない場合は、新年度の履修登録及び在籍は認められません。

# 科目説明

## ◆ 科目の種類について

必履修科目	履修をしないと卒業できない科目
選択必履修科目	必履修科目のうち、学ぶ科目が選べるもの
学校必履修科目	該当の年次に必ず選択する科目
自由選択科目	自身の希望に合わせて学べる科目

## ◆ 注意事項

- ① 科目によって「履修条件」が存在するものがあります。条件に達していない場合は、履修登録をすることができません。  
<例>・3年次以上でないと履修することができない。  
・「物理基礎」を履修済みでないと、「物理」を履修することができない。  
このようなことも考慮して、1年次にどの科目を選択するかを検討する必要があります。
- ② 「共通教科」の各教科と「学校設定科目」の各教科は、大学進学等で提出する書類において、別々に各教科の評価平均を算出します。  
ただし、全体の評定平均はすべての科目を合算して算出します。
- ③ 教科書代金とは別に教材費がかかる科目があります（家庭、美術・工芸、総合等）。  
保護者と必ず相談し、保護者の了承を必ず得た上で選択・登録すること。
- ④ 定員が設定されている科目は抽選などにより選択できない場合があります。

# 国語

科目名	種類	履修条件	単位数	備考
現代の国語	必履修	なし (1年次指定科目)	2	
言語文化	必履修	2年次以上 (「現代の国語」再履修者も可)	2	
国語プラス	自由選択	全年次	2	
評論2(国語表現)	自由選択	2年次以上	2	
評論3(論理国語)	自由選択	3年次以上	2	
国語研究2(文学)	自由選択	2年次以上	2	
国語研究3(古典)	自由選択	3年次以上	2	

共通教科 国語	科目	現代の国語		種類	必履修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）		教科書・教材等	現代の国語 改訂版（大修館書店）、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）、漢字ポックス（浜島書店）			
受講対象	・ 1年次に全員がクラスごとに履修						
学習内容	前期			後期			
	① 言葉を学ぶ ② 主張をとらえる ③ 的確に伝える ④ 意見を示す ⑤ 論理をとらえる			⑥ 効果的に伝える ⑦ 資料を解釈する ⑧ 他者と交流する ⑨ 文章を比較する ⑩ 他者を動かす			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能が身についている。			
			思考・判断・表現	論理的に考える力や他者と関わる中で伝える力や自らの思いや考えを広げたり深めることができるようになる。			
			主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が養われている。			
お薦め講座・備考	・ 「国語ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「言語文化」「国語研究2（文学）」「国語研究3（古典）」						

共通教科 国語	科目	言語文化		種類	必履修	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修（「現代の国語」再履修者も同時履修可能）		教科書・教材等	言語文化 改訂版（大修館書店）、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）、漢字ポックス（浜島書店）			
受講対象	・ 2年次以上で選択必履修						
学習内容	前期			後期			
	① 言語文化への視点 ② 言葉の紡ぐ世界 ③ 古典に親しむ ④ 表現の多様性			⑤ 日常へのまなざし ⑥ 人との交わり ⑦ 日本と世界 ⑧ 文学と人生			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、文化的は池の理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。			
			思考・判断・表現	作品や文章に表れるものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の仕方や特色について評価している。			
			主体的に学習に取り組む態度	日本語の表記の特色や独自性について学習した内容をもとにして、自らの言語感覚を磨き、語彙を増やそうとしている。			
お薦め講座・備考	・ 必履修科目なので、卒業までに必ず履修すること。そのため、なるべく2年次での履修選択が望ましい。 ・ 2年次に「評論2（国語表現）」「国語研究2（文学）」を選択する場合は、学習効果を高めるために、この「言語文化」も2年次に履修することを勧める。						

専門教科 国語	科目	国語プラス		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	なし	教科書・教材等		ICT教材 スタディサプリ デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>義務教育課程の内容を学び直したい生徒</li> <li>大学進学に向けた対策を行いたい生徒</li> </ul>						
学習内容	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小1から大学受験までの幅広いレベルと内容から、自分自身で学びたいものを決めます。</li> <li>「○○の時期までに◇◇の視聴を終える」といった計画も立てます。</li> <li>授業の最後に学んだ内容を発表して共有します。</li> </ul>		後期				
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み（特に視聴計画に対する達成度を重視します） ③提出物 ④発表 ⑤確認テスト チェックテスト 単元テスト	観点別の評価	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能が身についている。			
			思考・判断・表現	論理的に考える力や他者と関わる中で伝える力や自らの思いや考えを広げたり深めることができるようになる。			
			主体的に学習に取り組む態度	自身の学習状況を客観的に判断し、学び直しや受験対策など、一人一人異なる課題を解決しようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>本授業は「ICT教材：スタディサプリ」を利用した授業となります。</li> <li>右図のように、映像授業を視聴しながら学習をすすめます。</li> <li>担当の教職員は机間指導をしているので、疑問点がある場合はいつでも質問することができます。</li> </ul>						

専門教科 国語	科目	評論2（国語表現）		種類	自由選択	単位数	2			
履修条件	2年次以上で履修可能		教科書・教材等		国語表現（大修館書店）、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）、実用 資料読解問題集（明治書院）					
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>上級学校の受験で国語が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒</li> </ul>									
学習内容	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉と出会う</li> <li>伝える、伝え合う</li> <li>会話・議論・発表</li> <li>表現を楽しむ</li> </ul> 問題集での資料読解演習		<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メディアを駆使する</li> <li>自己PRと面接</li> <li>小論文・レポート入門</li> <li>表現を楽しむ</li> </ul> 問題集での資料読解演習							
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能が身についている。						
			思考・判断・表現	論理的に考える力や他者と関わる中で伝える力や自らの思いや考えを広げたり深めができるようになる。						
			主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が養われている。						
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「評論」科目的受講を選択する順序は、「評論2（国語表現）」の後に「評論3（論理国語）」が望ましく、学習効果が高まる。</li> <li>上級学校の受験で国語・小論文が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒は、3年次以上で「評論3（論理国語）」の受講が望ましい。</li> </ul>									

専門教科 国語	科目	評論3（論理国語）		種類	自由選択	単位数	2							
履修条件	3年次以上で履修可能		教科書・教材等		新編 論理国語（大修館書店）、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）、改訂版 大学入学共通テスト実践演習 論理・文学編（数研出版）									
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学受験科目で現代文が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒</li> </ul>													
学習内容	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">前期</td> <td style="text-align: center;">後期</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>論理と出会う</li> <li>対比をとらえる</li> <li>論理的に書く</li> <li>比べて読む</li> <li>問題集での読み解き演習</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体と抽象</li> <li>主張をつかむ</li> <li>統計資料を活用する</li> <li>レポートを書く</li> <li>小論文</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己を見つめて</li> <li>社会に向かって</li> <li>問い合わせを深めて書く</li> <li>未来に目を向けて</li> <li>問題集での読み解き演習</li> </ul> </td> </tr> </table>				前期	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理と出会う</li> <li>対比をとらえる</li> <li>論理的に書く</li> <li>比べて読む</li> <li>問題集での読み解き演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体と抽象</li> <li>主張をつかむ</li> <li>統計資料を活用する</li> <li>レポートを書く</li> <li>小論文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己を見つめて</li> <li>社会に向かって</li> <li>問い合わせを深めて書く</li> <li>未来に目を向けて</li> <li>問題集での読み解き演習</li> </ul>					
前期	後期													
<ul style="list-style-type: none"> <li>論理と出会う</li> <li>対比をとらえる</li> <li>論理的に書く</li> <li>比べて読む</li> <li>問題集での読み解き演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体と抽象</li> <li>主張をつかむ</li> <li>統計資料を活用する</li> <li>レポートを書く</li> <li>小論文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己を見つめて</li> <li>社会に向かって</li> <li>問い合わせを深めて書く</li> <li>未来に目を向けて</li> <li>問題集での読み解き演習</li> </ul>												
評価・評定の方法	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> ① 出席状況  ② 授業への取り組み  ③ 提出物  ④ 定期考査  小テスト </td><td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">観点別の評価</td><td>知識・技能</td><td>実社会に必要な国語の知識や技能が身についている。</td></tr> <tr> <td></td><td>思考・判断・表現</td><td>論理的に考える力や他者と関わる中で伝える力や自らの思いや考えを広げたり深めることができるようにになる。</td></tr> <tr> <td></td><td>主体的に学習に取り組む態度</td><td>言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に積極的かつ適切に関わろうとする態度が養われている。</td></tr> </table>				① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考査 小テスト	観点別の評価	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能が身についている。		思考・判断・表現	論理的に考える力や他者と関わる中で伝える力や自らの思いや考えを広げたり深めることができるようにになる。		主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に積極的かつ適切に関わろうとする態度が養われている。
① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考査 小テスト	観点別の評価	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能が身についている。											
		思考・判断・表現	論理的に考える力や他者と関わる中で伝える力や自らの思いや考えを広げたり深めることができるようにになる。											
		主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に積極的かつ適切に関わろうとする態度が養われている。											
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「評論」科目的受講を選択する順序は、「評論2（国語表現）」の後に「評論3（論理国語）」が望ましく、学習効果が高まる。</li> <li>大学受験で現代文・小論文が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒は、3年次以上で「評論3（論理国語）」の受講が望ましい。</li> </ul>													

専門教科 国語	科目	国語研究2（文学）		種類	自由選択	単位数	2							
履修条件	2年次以上で履修可能		教科書・教材等		新 文学国語（三省堂）、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）									
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語ゼミへの参加を希望している生徒 (他教科のゼミ希望で国語研究2を履修したい場合は国語科へ相談に来てください)</li> </ul>													
学習内容	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">前期</td> <td style="text-align: center;">後期</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>発想と感覚</li> <li>人間の姿と心</li> <li>意味と解釈</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>読みの深まり</li> <li>作品の挑戦</li> <li>近代の創造</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>史実と虚構</li> <li>作品の変貌</li> <li>文学の普遍性②</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>想像と創造</li> <li>文学の普遍性①</li> <li>文学の普遍性③</li> </ul> </td> </tr> </table>				前期	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発想と感覚</li> <li>人間の姿と心</li> <li>意味と解釈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読みの深まり</li> <li>作品の挑戦</li> <li>近代の創造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>史実と虚構</li> <li>作品の変貌</li> <li>文学の普遍性②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像と創造</li> <li>文学の普遍性①</li> <li>文学の普遍性③</li> </ul>				
前期	後期													
<ul style="list-style-type: none"> <li>発想と感覚</li> <li>人間の姿と心</li> <li>意味と解釈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読みの深まり</li> <li>作品の挑戦</li> <li>近代の創造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>史実と虚構</li> <li>作品の変貌</li> <li>文学の普遍性②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想像と創造</li> <li>文学の普遍性①</li> <li>文学の普遍性③</li> </ul>											
評価・評定の方法	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> ① 出席状況  ② 授業への取り組み  ③ 提出物  ④ 定期考査  小テスト </td><td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">観点別の評価</td><td>知識・技能</td><td>生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。</td></tr> <tr> <td></td><td>思考・判断・表現</td><td>深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</td></tr> <tr> <td></td><td>主体的に学習に取り組む態度</td><td>言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとする態度が養われている。</td></tr> </table>				① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考査 小テスト	観点別の評価	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。		思考・判断・表現	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。		主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとする態度が養われている。
① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考査 小テスト	観点別の評価	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。											
		思考・判断・表現	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。											
		主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとする態度が養われている。											
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「国語研究」科目の受講を選択する順序は、「国語研究2（文学）」の後に「国語研究3（古典）」が望ましく、学習効果が高まる。</li> <li>「国語ゼミ」に参加を希望する場合は「国語研究2（文学）」を受講することが望ましく、大学受験科目で古典（古文・漢文）が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒は、3年次以上で「国語研究3（古典）」の受講が望ましい。</li> </ul>													

専門教科 国語	科目	国語研究3（古典）		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3年次以上で履修可能	教科書・教材等		高等学校 古典探究（数研出版）、デジタル版 ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）、改訂版 大学入学共通テスト実践演習 古文・漢文編（数研出版）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語ゼミへの参加を希望していて古典・漢文分野に興味がある生徒。</li> <li>・（他教科のゼミ希望で国語研究3を履修したい場合は国語科へ相談に来てください）</li> <li>・大学受験で古典が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒</li> </ul>						
学習内容	<p>前期</p> <p>〈古文〉説話、歌物語、隨筆、物語、和歌      〈漢文〉故事、漢詩、史伝、思想      ・問題集での読解演習</p>			<p>後期</p> <p>〈古文〉隨筆、日記、評論、近世隨筆、近世小説      〈漢文〉逸話、漢詩、史伝、思想      ・問題集での読解演習</p>			
評価・評定の方法	<p>① 出席状況      ② 授業への取り組み      ③ 提出物      ④ 定期考查      小テスト</p>	観点別の評価	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。			
			思考・判断・表現	古典を通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が養われている。			
お薦め講座 ・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国語研究」科目的受講を選択する順序は、「国語研究2（文学）」の後に「国語研究3（古典）」が望ましく、学習効果が高まる。</li> <li>・「国語ゼミ」に参加を希望する場合は「国語研究2（文学）」を受講することが望ましく、大学受験科目で古典（古文・漢文）が必要な生徒や人文科学系の大学進学を希望している生徒は、3年次以上で「国語研究3（古典）」の受講が望ましい。</li> <li>・国語ゼミの生徒でも古典分野が研究テーマでなければ、この「国語研究3（古典）」の履修はしなくても構わない。</li> </ul>						

# 地理歴史

# 公民

科目名	種類	履修条件	単位数	備考
地理総合	必履修	なし	2	
地理探究	自由選択	「地理総合」を履修済み	4	
歴史総合	必履修	なし	2	
日本史探究	自由選択	「歴史総合」を履修済み	4	
世界史探究	自由選択	「歴史総合」を履修済み	4	
地理研究 3	自由選択	3 年次以上	2	
日本史研究 3	自由選択	3 年次以上	2	
世界史研究 3	自由選択	3 年次以上	2	
公共	必履修	なし (1 年次指定科目)	2	
公民研究 2	自由選択	2 年次以上	2	
公民研究 3	自由選択	3 年次以上	2	

共通教科 地理歴史		科目	地理総合	種類	必履修	単位数	2			
履修条件	なし		教科書・教材等	高等学校新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）						
受講対象	・卒業までのいずれかの年次で必ず履修する。									
学習内容	前期 ① 世界の諸地域を学ぶ ② 地球的に広がる課題				後期 ③ 地図の活用と統計資料の分析 ④ 日本の自然環境と防災					
評価・評定の方法	① 定期考査 ② 授業への取り組み ③ 提出物	観点別の評価	知識・技能	地理的情報を収集・活用・分析することができる。						
			思考・判断・表現	地図や統計資料もとに、説明することができる。						
			主体的に学習に取り組む態度	課題及びグループワークやペアワークに、周囲と協力して取り組むことができる。						
お薦め講座・備考	・「地理探究」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。 ・「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に地理分野を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「地理探究」「地理研究3」									

共通教科 地理歴史		科目	地理探究	種類	自由選択	単位数	4			
履修条件	'地理総合'を履修済み			地理探究（二宮書店） 新詳高等地図（帝国書院） 新編フォトグラフィア地理図説(東京法令出版)						
受講対象	・大学受験等で「地理総合」よりも深く専門的な地理の内容が必要となる生徒 ・「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に地理分野の希望者は必須									
学習内容	前期 ① 世界の大地形と小地形 ② 大気の大循環とケッペンの気候区分 ③ 世界の農業と工業				後期 ④ 日本の自然環境と国内産業 ⑤ 世界の地誌 (アジア・アフリカ・ヨーロッパ・オセアニア ・アングロアメリカ・ラテンアメリカ等)					
評価・評定の方法	① 定期考査 ② 授業への取り組み ③ 提出物	観点別の評価	知識・技能	地理的情報を収集・活用・分析することができる。						
			思考・判断・表現	地図や統計資料もとに、説明することができる。						
			主体的に学習に取り組む態度	グループワークやペアワークに、周囲と協力して取り組むことができる。						
お薦め講座・備考	・4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。 ・「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に地理分野を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「地理研究3」									

共通教科 地理歴史	科目	歴史総合		種類	必履修	単位数	2		
履修条件	なし	教科書・教材等		歴史総合（実教出版）					
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業までのいずれかの年次で必ず履修する。</li> </ul>								
学習内容	前期 <ul style="list-style-type: none"> <li>18世紀～19世紀前半における、世界と日本。 ① 近代化と私たち</li> </ul>			後期 <ul style="list-style-type: none"> <li>19世紀後半～20世紀における、世界と日本。 ② 國際秩序の変化や大衆化と私たち ③ グローバル化と私たち</li> </ul>					
評価・評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業への取り組み</li> <li>提出物</li> </ul>	観点別の評価	知識・技能	基本的知識を身に付けるとともに、諸資料を収集し有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。					
			思考・判断・表現	歴史を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ、適切に表現できる。					
			主体的に学習に取り組む態度	課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。					
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日本史探究」「世界史探究」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。</li> <li>「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に歴史分野を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆日本の歴史を深く学びたい場合⇒「日本史探究」「日本史研究3」</li> <li>◆世界の歴史を深く学びたい場合⇒「世界史探究」「世界史研究3」</li> </ul> </li> </ul>								

共通教科 地理歴史	科目	日本史探究		種類	自由選択	単位数	4			
履修条件	'歴史総合'を履修済み		教科書・教材等		詳説日本史（山川出版社） 歴史資料館 日本史のライブラリー(東京法令出版)					
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学受験等で「歴史総合」よりも深く専門的な日本史の内容が必要となる生徒</li> <li>「地歴・公民ゼミ（日本史専攻）」の参加希望者は必須</li> </ul>									
学習内容	前期 旧石器時代～江戸時代 <ul style="list-style-type: none"> <li>先史時代から近世までの政治史、社会経済史の概観</li> <li>先史時代から近世までの外交史、文化史の概観</li> </ul>			後期 明治時代～戦後史 <ul style="list-style-type: none"> <li>近代から現代までの政治史、社会経済史の概観</li> <li>近代から現代までの外交史、文化史の概観</li> </ul>						
評価・評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業への取り組み</li> <li>提出物</li> </ul>	観点別の評価	知識・技能	基本的知識を身に付けるとともに、諸資料を収集し有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。						
			思考・判断・表現	歴史を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ、適切に表現できる。						
			主体的に学習に取り組む態度	課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。						
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>4単位の授業なので、週に2回（1回2時間）あるので注意すること。</li> <li>「地歴・公民ゼミ（日本史専攻）」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「日本史研究3」</li> </ul>									

共通教科 地理歴史	科目	世界史探究	種類	自由選択	単位数	4
履修条件	「歴史総合」を履修済み		教科書・教材等	新詳世界史探究（帝国書院） ニュースステージ世界史詳覧（浜島書店）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の歴史について、学びを深めたい者。</li> <li>人文系の大学進学を考えている者。</li> <li>大学受験で世界史探究の活用を考えている者。</li> </ul>					
学習内容	<p>前期</p> <p>人類の始まりから 18 世紀までの世界の歴史について学習する。            ・諸地域の歴史的特質の形成            ・諸地域の交流・再編</p>			<p>後期</p> <p>18 世紀後半から 21 世紀までの世界の歴史について学習する。            ・諸地域の統合・変容            ・地球世界の課題</p>		
評価・評定の方法	<p>① 定期考査            ② 授業への取り組み            ③ 課題            （ワークシート、レポート等）</p>	観点別の評価	知識・技能	基本的知識を身に付けるとともに、諸資料を収集し有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。		
思考・判断・表現			歴史を多面的・多角的に考察し、広い視野に立って諸地域を理解し、表現できる。			
主体的に学習に取り組む態度			課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 単位の科目なので、週に 2 回（1 回 2 時間）授業があるので注意すること。</li> <li>「地歴・公民ゼミ」            →地歴・公民ゼミでの活動では、基本的な歴史の流れや歴史的な思考力を生かすことができるため。</li> <li>公民研究（特に、人文・社会科学系の大学への進学を考えている者）            →世界史探究と公民研究の内容は密接に結びついており、両者を学ぶことにより互いの講座の学習理解が高まるため。</li> </ul>					

専門教科 地理歴史	科目	地理研究 3	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等	地理探究（二宮書店） 新詳高等地理（帝国書院） 新編フォトグラフィア地理図説（東京法令出版）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の地理について、学びを深めたい者。（地理探究を履修済みであることが望ましい）</li> <li>人文系の大学進学を考えている者。</li> <li>大学受験で地理探究の活用を考えている者。</li> </ul>					
学習内容	<p>前期</p> <p>・地理について、共通のテーマを設定し、研究を行なう。</p>			<p>後期</p> <p>・地理について、課題やテーマをそれぞれ設定し、研究を行なう。</p>		
評価・評定の方法	<p>① 授業への取り組み            ② 課題            （ワークシート、レポート等）            ③ 確認テスト</p>	観点別の評価	知識・技能	複数の統計資料、地図、文書資料を収集し、各テーマに適切な情報の読み取り、活用することができる。		
思考・判断・表現			地理的事象を多面的・多角的に考察し、根拠に基づいてみずからの言葉で実験できる。			
主体的に学習に取り組む態度			地理において疑問や追及してみたい事柄を見つけ、主体的に追及することができる。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地歴・公民ゼミ」            →地歴・公民ゼミでの活動では、基本的な地理的事象や地理的な思考力を生かすことができ、本講座で基礎研究を行なう。</li> </ul>					

専門教科 地理歴史	科目	日本史研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3年次以上で履修可能		教科書・教材等	詳説日本史（山川出版社） 歴史資料館 日本史のライブラリー（東京法令出版）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本歴史について、学びを深めたい者。（日本史探究を履修済みであることが望ましい）</li> <li>人文系の大学進学を考えている者。</li> <li>大学受験で日本史探究の活用を考えている者。</li> </ul>						
学習内容	前期  近代までの日本の歴史について、政治史・社会経済史・外交史・文化史などのテーマを設定し、歴史の大局を概観しながら、個別に事例研究を行う。			後期  近代以降の日本の歴史について、政治史・社会経済史・外交史・文化史などのテーマを設定し、歴史の大局を概観しながら、個別に事例研究を行う。			
評価・評定の方法	① 授業への取り組み ② 課題 （ワークシート、レポート等） ③ 確認テスト	観点別の評価	知識・技能	複数の史・資料を収集し、各テーマに適切な情報を読み取り、活用することができる。			
			思考・判断・表現	歴史を多面的・多角的に考察し、根拠に基づいてみずからで表現できる。			
			主体的に学習に取り組む態度	歴史において疑問や追及してみたい事柄を見つけ、主体的に追及することができる。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地歴・公民ゼミ」に所属し、日本の歴史を中心に学習する場合は、「日本史探究」を履修しておくことを推奨します（歴史総合を履修済みであることが前提）。            →「日本史探究」：古代（先史時代・縄文・弥生・飛鳥・奈良・平安時代）・中世（鎌倉・室町・戦国時代）・ 近世（安土桃山・江戸時代）            →「日本史研究 3」：近代（明治・大正・昭和前期）・現代（戦後史・現代史）         </li> </ul>						

専門教科 地理歴史	科目	世界史研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3年次以上で履修可能		教科書・教材等	新詳世界史探究（帝国書院） ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界歴史について、学びを深めたい者。（世界史探究を履修済みであることが望ましい）</li> <li>人文系の大学進学を考えている者。</li> <li>大学受験で世界史探究の活用を考えている者。</li> </ul>						
学習内容	前期  世界史について、共通のテーマを設定し、研究を行なう。			後期  世界史について、課題やテーマをそれぞれが設定し、研究を行なう。			
評価・評定の方法	① 授業への取り組み ② 課題 （ワークシート、レポート等） ③ 確認テスト	観点別の評価	知識・技能	複数の史・資料を収集し、各テーマに適切な情報を読み取り、活用することができる。			
			思考・判断・表現	歴史を多面的・多角的に考察し、根拠に基づいてみずからで表現できる。			
			主体的に学習に取り組む態度	歴史において疑問や追及してみたい事柄を見つけ、主体的に追及することができる。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地歴・公民ゼミ」 →地歴・公民ゼミでの活動では、基本的な歴史の流れや歴史的な思考力を生かすことができ、本講座で基礎研究を行なうため。</li> </ul>						

共通教科 公民	科目	公共		種類	必履修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）		教科書・教材等	公共（東京法令出版）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次に全員がクラスごとに履修する。</li> </ul>						
学習内容	前期 第1章 公共の扉 第2章 現代社会の諸課題（法～政治）			後期 第2章 現代社会の諸課題（経済） 第3章 持続可能な社会へ			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。			
			思考・判断・表現	多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れ、議論する力を身に付けている。			
			主体的に学習に取り組む態度	現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地歴・公民ゼミ」に所属し、特に公民分野の学習を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。            「公民研究2」「公民研究3」         </li> </ul>						

専門教科 公民	科目	公民研究2		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能		教科書・教材等	政治・経済（教育図書） フォーラム公共（東京法令出版）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会の諸課題について、公民科的な見方・考え方で探究を深めたい者。</li> <li>人文科学および社会科学系の大学進学を考えている者。</li> <li>大学受験で公民科（「公共」「倫理」「政治・経済」）の活用を考えている者。</li> </ul>						
学習内容	前期 現代社会における諸課題について学ぶ。 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方			後期 現代社会における政治・経済的諸課題について学ぶ。 現代日本における政治・経済の諸課題 グローバル化する国際社会の諸課題			
評価・評定の方法	① 授業への取り組み ② 課題 （ワークシート、レポート等）	観点別の評価	知識・技能	基本的知識を身に付けるとともに、諸資料を収集し有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。			
			思考・判断・表現	現代社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、広い視野に立って諸課題の解決策を提示できる。			
			主体的に学習に取り組む態度	課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地歴・公民ゼミ」            →本講座で扱う「公民的な見方・考え方」は、地歴・公民ゼミで大いに活用できると考えられる。</li> <li>「世界史探究」            →公民研究と世界史探究の内容は密接に結びついており、両者を学ぶことにより互いの講座の学習理解が高まるため。</li> </ul>						

専門教科 公民	科目	公民研究3		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3年次以上で履修可能		教科書・教材等	倫理（東京書籍） アプローチ倫理資料 PLUS（東京法令出版）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会の諸課題について、倫理的な見方・考え方で探究を深めたい者。</li> <li>・ 人文科学系の大学進学を考えている者。</li> <li>・ 大学受験で「公共」「倫理」の活用を考えている者。</li> </ul>						
学習内容	<p style="text-align: center;">前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人間の心のあり方（人間の特質や自己形成）</li> <li>・ さまざまな人生観、世界観（哲学と宗教）</li> <li>・ さまざまな倫理観、世界観（西洋思想の流れ）</li> </ul>			<p style="text-align: center;">後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際社会に生きる日本人としての自覚（日本の風土と思想の流れ）</li> <li>・ 現代の諸課題と倫理（生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和）</li> </ul>			
評価・評定の方法	<p>① 授業への取り組み            ② 小テスト            ③ 課題            （ワークシート、レポート等）</p>	観点別の評価	知識・技能	先哲の人間観や世界観を理解し、教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめられる。			
			思考・判断・表現	先哲の思想を現代の社会生活に関連付けながら多面的・多角的に考察し、理解したこと、考察したことなどを適切に表現できる。			
			主体的に学習に取り組む態度	人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。			
お薦め講座 ・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「世界史探究」、「世界史研究3」            →公民研究3と世界史探究の内容は密接に結びついており、両者を学ぶことにより互いの講座の学習理解が高まる。</li> <li>・ 国語科の科目            →「公民研究3」は言語を重視するため、国語の深い理解や活用能力が必須である。</li> <li>・ 芸術科（音楽、美術、工芸）→本講座の内容は、芸術の理解を深めることにつながる。</li> </ul>						

# 数 学

科目名	種類	履修条件	単位数	備考
数学Ⅰ	必履修	なし (1年次指定科目)	2	
数学Ⅱ	自由選択	「数学Ⅰ」履修済み	4	
数学Ⅲ	自由選択	「数学Ⅱ」履修済み	4	
数学A	自由選択	なし	2	
数学B	自由選択	2年次以上 「数学Ⅰ」履修済み	2	
数学C	自由選択	3年次以上 「数学Ⅰ」履修済み	2	
数学プラス	自由選択	なし	2	
数学研究3	自由選択	3年次以上	2	

共通教科 数学	科目	数学Ⅰ		種類	必履修	単位数	2			
履修条件	なし（1年次指定科目）		教科書・教材等	改訂版 新数学Ⅰ（東京書籍） ニューファースト 新数学Ⅰ（東京書籍）						
受講対象	・ 1年次に全員がクラスごとに履修									
学習内容	前期 ① 数と式 ② 集合と論理 ③ 2次関数				後期 ④ 2次関数 ⑤ 図形と計量 ⑥ データの分析					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。						
			思考・判断・表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。						
			主体的に学習に取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。						
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」「数学研究3」</li> <li>理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」</li> <li>薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」（「数学C」）</li> <li>看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学A」</li> </ul>									

共通教科 数学	科目	数学Ⅱ		種類	自由選択	単位数	4			
履修条件	「数学Ⅰ」を履修済み		教科書・教材等	新編数学Ⅱ（実教出版） ラウンドノート数学Ⅱ（実教出版）						
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>理工系及び看護医療系の大学や専門学校の進学を希望している生徒</li> <li>数学ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>									
学習内容	前期 ① 方程式・式と証明 ② 図形と方程式 ③ 指数関数・対数関数				後期 ④ 指数関数・対数関数 ⑤ 三角関数 ⑥ 微分法と積分法					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。						
			思考・判断・表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。						
			主体的に学習に取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。						
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>4単位の科目のため、週に2回（1回2時間）授業があるので注意すること。</li> <li>「数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」「数学研究3」</li> <li>理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」</li> <li>薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」（「数学C」）</li> <li>看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学A」</li> </ul>									

共通教科 数学	科目	数学III		種類	自由選択	単位数	4
履修条件	「数学II」を履修済み		教科書・教材等	新編数学III（実教出版） ラウンドノート数学III（実教出版）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>理工系の大学の進学を希望している生徒</li> <li>数学ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>						
学習内容	前期 ① 関数と極限 ② 微分法			後期 ③ 微分法の応用 ④ 積分法			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。			
			思考・判断・表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。			
			主体的に学習に取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>4単位の科目のため、週に2回（1回2時間）授業があるので注意すること。</li> <li>以下の講座を受講することが必要不可欠である。 「数学A」「数学II」「数学B」「数学C」</li> <li>理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学II」「数学III」「数学A」「数学B」「数学C」</li> <li>薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学II」「数学A」「数学B」（「数学C」）</li> <li>看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学A」</li> </ul>						

共通教科 数学	科目	数学A		種類	自由選択	単位数	2		
履修条件	なし	教科書・教材等		新編数学A Flex（実教出版） ラウンドノート数学A 新訂版（実教出版）					
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>理工系及び看護医療系の大学や専門学校の進学を希望している生徒</li> <li>数学ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>								
学習内容	前期 ① 場合の数と確率 ② 図形の性質			後期 ③ 図形の性質 ④ 数学と人間の活動（整数の性質）					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。					
			思考・判断・表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。					
			主体的に学習に取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。					
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「数学II」「数学III」「数学A」「数学B」「数学C」「数学研究3」</li> <li>理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学II」「数学III」「数学A」「数学B」「数学C」</li> <li>薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学II」「数学A」「数学B」（「数学C」）</li> <li>看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学A」</li> </ul>								

共通教科 数学	科目	数学 B	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2 年次以上で履修可能 「数学 I」を履修済み	教科書・教材等		新編数学 B (実教出版) ラウンドノート数学 B (実教出版)		
受講対象				・ 理工系及び看護医療系の大学や専門学校の進学を希望している生徒 ・ 数学ゼミへの参加を希望している生徒		
学習内容		前期		後期		
	① 数列 ② 確率分布と統計的な推測			③ 確率分布と統計的な推測 ④ 数学と社会生活		
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。		
			思考・判断・表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計算について論理的に考察し、表現できる。		
			主体的に学習に取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。		
お薦め講座・備考	・ 「数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「数学 II」「数学 III」「数学 A」「数学 B」「数学 C」「数学研究 3」 ・ 理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学 II」「数学 III」「数学 A」「数学 B」「数学 C」 ・ 薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学 II」「数学 A」「数学 B」(「数学 C」) ・ 看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学 A」					

共通教科 数学	科目	数学 C	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3 年次以上で履修可能 「数学 I」を履修済み	教科書・教材等		新編数学 C (実教出版) ラウンドノート数学 C (実教出版)		
受講対象				・ 理工系の大学の進学を希望している生徒 ・ 数学ゼミへの参加を希望している生徒		
学習内容		前期		後期		
	・ ベクトル ・ 複素数平面			・ 平面上の曲線 ・ 数学的な表現の工夫		
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。		
			思考・判断・表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計算について論理的に考察し、表現できる。		
			主体的に学習に取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。		
お薦め講座・備考	・ 以下の講座を受講することが必要不可欠である。 「数学 II」「数学 III」「数学 A」「数学 B」「数学 C」「数学研究 3」 ・ 理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学 II」「数学 III」「数学 A」「数学 B」「数学 C」 ・ 薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学 II」「数学 A」「数学 B」(「数学 C」) ・ 看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学 A」					

専門教科 数学	科目	数学プラス		種類	自由選択	単位数	2				
履修条件	なし		教科書・教材等	ICT 教材 スタディサプリ							
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>義務教育課程の内容を学び直したい生徒</li> <li>大学進学に向けた対策を行いたい生徒</li> </ul>										
学習内容	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">前期</td> <td style="text-align: center;">後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>小4から大学受験までの幅広いレベルと内容から、自分自身で学びたいものを決めてもらいます。</li> <li>「〇〇の時期までに◇◇の視聴を終える」といった計画も立てます。</li> </ul> </td></tr> </table>							前期	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>小4から大学受験までの幅広いレベルと内容から、自分自身で学びたいものを決めてもらいます。</li> <li>「〇〇の時期までに◇◇の視聴を終える」といった計画も立てます。</li> </ul>	
前期	後期										
<ul style="list-style-type: none"> <li>小4から大学受験までの幅広いレベルと内容から、自分自身で学びたいものを決めてもらいます。</li> <li>「〇〇の時期までに◇◇の視聴を終える」といった計画も立てます。</li> </ul>											
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み 視聴計画に対する達成度を重要視します。 ③提出物	観点別の評価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。							
			思考・判断・表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。							
			主体的に学習に取り組む態度	自身の学習状況を客観的に判断し、学び直しや受験対策など、一人一人異なる課題を解決しようとしている。							
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>本授業は「ICT 教材：スタディサプリ」を利用した授業となります。</li> <li>右図のように、映像授業を視聴しながら学習をすすめます。</li> <li>担当の教員は机間指導をしているので、疑問点がある場合はいつでも質問することができます。</li> </ul>										

専門教科 数学	科目	数学研究 3		種類	自由選択	単位数	2				
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等	短期集中ゼミ 基礎からの数学 I + A (実教出版) 短期集中ゼミ 基礎からの数学 II + B + C (実教出版)							
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>理工系及び看護医療系の大学や専門学校の進学を希望している生徒</li> <li>数学ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>										
学習内容	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">前期</td> <td style="text-align: center;">後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>数学 I A の復習および演習</li> </ul> </td></tr> </table>			前期	後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学 I A の復習および演習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>数学 II B の復習および演習</li> </ul>			
前期	後期										
<ul style="list-style-type: none"> <li>数学 I A の復習および演習</li> </ul>											
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	各項目についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、身近な事柄を数学で表現・処理することができる。							
			思考・判断・表現	数や式を目的に応じて適切に変形したり、図形の性質や計量について論理的に考察し、表現できる。							
			主体的に学習に取り組む態度	数学を日常生活に活用しようとしている。難問に対しても粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したり、考察しようとしている。							
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の講座を受講することが必要不可欠である。  「数学 A」「数学 II」「数学 B」</li> <li>理工系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学 II」「数学 III」「数学 A」「数学 B」「数学 C」</li> <li>薬学系の大学進学を考える場合 ⇒ 「数学 II」「数学 A」「数学 B」(「数学 C」)</li> <li>看護系の専門学校を考える場合 ⇒ 「数学 A」</li> </ul>										

# 理科

## <理科の卒業要件>

### ①「科学と人間生活」を履修した場合

→「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の**いずれか1科目**を次年度以降に履修する。

### ②「科学と人間生活」を履修しなかった場合

→「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の**中から3科目**を履修する。

・「科学と人間生活」と「他の理科科目」を同一年度に履修することはできない。

・「他の理科科目」履修後に「科学と人間生活」を履修することはできない。

科目名	種類	履修条件	単位数	備考
科学と人間生活	選択必履修	なし (1年次指定科目)	2	
物理基礎	選択必履修	なし	2	
化学基礎	選択必履修	なし	2	
生物基礎	選択必履修	なし	2	
地学基礎	選択必履修	2年次以上	2	
物理	自由選択	物理基礎を履修済み	4	
化学	自由選択	化学基礎を履修済み	4	
生物	自由選択	生物基礎を履修済み	4	
物理研究3	自由選択	3年次以上	2	
化学研究3	自由選択	3年次以上	2	
生物研究3	自由選択	3年次以上	2	要事前相談

共通教科 理科	科目	科学と人間生活		種類	選択必履修	単位数	2			
履修条件	なし（1年次指定科目）		教科書・教材等	改訂 科学と人間生活（東京書籍）						
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次において、本講座か「化学基礎」のいずれかを全員が選択する。</li> <li>理科を教養的に学びたい生徒、実験を通じて楽しく学びたい生徒</li> </ul>									
学習内容	前期  例：顕微鏡の使い方、温度について、ろ過・蛍光・紫外線、光合成色素、物質の三態、浮沈子の作成など			後期  例：管楽器・弦楽器、熱気球、化石レプリカの作成、高分子化合物、ろうそくの作成など						
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	観察、実験などを通して自然現象を理解しているとともに、それらの観察、実験の基本操作や記録などの技能を身に付けている。						
			思考・判断・表現	様々な現象を数式やグラフで定量的にまとめたり、言葉で定性的に説明することができる。実験の手順を理解し、他者に伝達することができる						
			主体的に学習に取り組む態度	実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。						
お薦め講座・備考	<p><b>【理科の卒業要件】</b></p> <p>①「科学と人間生活」を履修した場合→「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のいずれか1科目を次年度以降に履修する。</p> <p>②「科学と人間生活」を履修しなかった場合→「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の中から3科目を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「科学と人間生活」と「他の理科科目」を同一年度に履修することはできない。</li> <li>「他の理科科目」履修後に「科学と人間生活」を履修することはできない。</li> </ul>									

共通教科 理科	科目	物理基礎		種類	選択必履修	単位数	2			
履修条件	なし		教科書・教材等	改訂 新編物理基礎（東京書籍）						
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>理工系の大学や専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>理科・数学ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>									
学習内容	前期  物体の運動とエネルギー ①直線運動の世界 ②力と運動の法則 ③力学的エネルギー			後期  様々な物理現象とエネルギー ①熱 ②波 ③電気 ④エネルギーとその利用						
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	観察、実験などを通して物理現象を理解しているとともに、それらの観察、実験の基本操作や記録などの技能を身に付けている。						
			思考・判断・表現	物理現象を数式やグラフで定量的にまとめたり、言葉で定性的に説明することができる。						
			主体的に学習に取り組む態度	物理現象の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。						
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「物理」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。</li> <li>理工系の大学進学を考える場合や「理科・数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。「化学基礎」「物理」「物理研究3」</li> </ul> <p>※理科の卒業要件については、理科 p 1・「科学と人間生活」の項目を参照すること。</p>									

共通教科 理科	科目	化学基礎		種類	選択必履修	単位数	2		
履修条件	なし	教科書・教材等		改訂 新編化学基礎（東京書籍）					
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次において、本講座か「科学と人間生活」のいずれかを全員が選択する。</li> <li>理学系の大学や医療系専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>理科・数学ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>								
学習内容	前期 物質の構成 ① 物質の成分と構成元素 ② 物質の三態 ③ 原子の構造 ④ 化学結合			後期 物質の変化 ① 物質量と化学反応式 ② 酸と塩基 ③ 酸化還元反応					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	物質とその変化についての基礎・基本を理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。					
			思考・判断・表現	理科の見方・考え方を働き、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。					
			主体的に学習に取り組む態度	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。					
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「化学」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。</li> <li>理学系の大学や医療系の大学及び専門学校の進学を考える場合、「理科・数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「生物基礎」「化学」「化学研究3」</li> </ul> <p>※理科の卒業要件については、理科 p1 「科学と人間生活」の項目を参照すること。</p>								

共通教科 理科	科目	生物基礎		種類	選択必履修	単位数	2		
履修条件	なし	教科書・教材等		改訂 新編生物基礎（東京書籍）					
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>理学系の大学や医療系専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>理科・数学ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>								
学習内容	前期 生物の特徴・遺伝子の働き ① 生物の多様性と共通性 ② 生物とエネルギー ③ 遺伝情報とDNA ④ 遺伝情報とタンパク質の合成			後期 ヒトの体の調整・生物の多様性と共通性 ① ヒトの体を調整する仕組み ② 免疫のはたらき ③ 植生と遷移 ④ 生態系と生物の多様性					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	生物や生物現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。					
			思考・判断・表現	理科の見方・考え方を働き、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。					
			主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり科学的に探究し、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与ようとしている。					
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生物」を受講したい生徒は、本講座を早い年次で履修してください。</li> <li>理学系の大学や医療系の大学及び専門学校の進学を考える場合、「理科・数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。</li> <li>「化学基礎」「生物」「生物研究3」</li> </ul> <p>※理科の卒業要件については理科 p1 「科学と人間生活」の項目を参照すること。</p>								

共通教科 理科	科目	地学基礎		種類	選択必履修	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能		教科書・教材等	改訂 地学基礎（東京書籍）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>理学系の大学や専門学校に進学を希望している生徒</li> </ul>						
学習内容	前期 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大地とその動き</li> <li>・地球大気の構造</li> <li>・海水の特徴とその運動</li> </ul>			後期 <ul style="list-style-type: none"> <li>・火山活動と地震</li> <li>・大気の特徴とその運動</li> <li>・日本の天気と気象災害</li> <li>・宇宙の構造と進化</li> <li>・地層と化石の観察</li> <li>・日本の自然の恵みと防災</li> <li>・これからの中の地球環境</li> <li>・太陽系の誕生</li> <li>・古生物の変遷と地球環境</li> <li>・地球環境と私たちの生活</li> </ul>			
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	地球や地球を取り巻く環境について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。			
			思考・判断・表現	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。			
			主体的に学習に取り組む態度	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり科学的に探究し、自然環境の保全に寄与ようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」</li> </ul> ※理科の卒業要件については、理科 p1、「科学と人間生活」の項目を参照すること。						

共通教科 理科	科目	物理		種類	自由選択	単位数	4
履修条件	'物理基礎'を履修済み		教科書・教材等	物理（東京書籍）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>理工系の大学進学を希望している生徒</li> <li>理科・数学ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>						
学習内容	前期 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面内の運動</li> <li>・円運動</li> <li>・気体分子の運動</li> <li>・音波</li> <li>・境界が存在する定在波</li> </ul>			後期 <ul style="list-style-type: none"> <li>・剛体のつりあい</li> <li>・単振動</li> <li>・波の式</li> <li>・ドップラー効果</li> <li>・運動量</li> <li>・万有引力</li> <li>・定在波</li> <li>・光の干渉</li> <li>・電界と電位</li> <li>・コンデンサー</li> <li>・非線形抵抗</li> <li>・電磁誘導</li> <li>・交流回路</li> <li>・コンデンサーを含む直流回路</li> <li>・電流と磁場</li> <li>・コイルを含む直流回路</li> </ul>			
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	観察、実験などを通して物理現象を理解しているとともに、それらの観察、実験の基本操作や記録などの技能を身に付けています。			
			思考・判断・表現	物理現象を数式やグラフで定量的にまとめたり、言葉で定性的に説明することができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	物理現象の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>4単位の科目のため、週に2回（1回2時間）授業があるので注意すること。</li> <li>理工系の大学進学を考える場合や「理科・数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。「物理研究3」</li> <li>数学の知識が必須です。「数学II」「数学III」「数学B」「数学C」の受講をお薦めします。</li> </ul>						

共通教科 理科	科目	化学		種類	自由選択	単位数	4								
履修条件	「化学基礎」を履修済み		教科書・教材等	化学 vol.1 理論編、vol.2 物質編（東京書籍）											
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>理学系の大学や医療系専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>理科・数学ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>														
学習内容	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">前期</td> <td style="text-align: center;">後期</td> </tr> <tr> <td>           ・物質の状態            ・固体の構造            ・電池と電気分解            ・水溶液中の化学平衡         </td><td>           ・気体の性質            ・化学反応と熱            ・化学反応の速さ            ・光         </td><td>           ・溶液の性質            ・化学平衡         </td><td>           ・周期表と元素            ・遷移元素            ・炭化水素            ・高分子化合物         </td><td>           ・非金属元素            ・金属イオンの分離と確認            ・アルコール            ・天然高分子化合物         </td><td>           ・典型金属元素            ・有機化合物            ・芳香族化合物            ・合成高分子化合物         </td><td></td> </tr> </table>						前期	後期	・物質の状態 ・固体の構造 ・電池と電気分解 ・水溶液中の化学平衡	・気体の性質 ・化学反応と熱 ・化学反応の速さ ・光	・溶液の性質 ・化学平衡	・周期表と元素 ・遷移元素 ・炭化水素 ・高分子化合物	・非金属元素 ・金属イオンの分離と確認 ・アルコール ・天然高分子化合物	・典型金属元素 ・有機化合物 ・芳香族化合物 ・合成高分子化合物	
前期	後期														
・物質の状態 ・固体の構造 ・電池と電気分解 ・水溶液中の化学平衡	・気体の性質 ・化学反応と熱 ・化学反応の速さ ・光	・溶液の性質 ・化学平衡	・周期表と元素 ・遷移元素 ・炭化水素 ・高分子化合物	・非金属元素 ・金属イオンの分離と確認 ・アルコール ・天然高分子化合物	・典型金属元素 ・有機化合物 ・芳香族化合物 ・合成高分子化合物										
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	物質とその変化についての基礎・基本を理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。											
			思考・判断・表現	理科の見方・考え方を働きさせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。											
			主体的に学習に取り組む態度	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。											
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 単位の科目のため、週に 2 回（1 回 2 時間）授業があるので注意すること。</li> <li>理学系の大学や医療系の大学及び専門学校の進学を考える場合、「理科・数学ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「化学研究 3」</li> </ul>														

共通教科 理科	科目	生物		種類	自由選択	単位数	4				
履修条件	「生物基礎」を履修済み		教科書・教材等	生物（実教出版）							
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>理工学系の大学や医療・看護系専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>理科・数学ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>										
学習内容	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">前期</td> <td style="text-align: center;">後期</td> </tr> <tr> <td>           1章 生物の進化            2章 生命現象と物質            3章 遺伝情報の発現         </td><td>           4章 発生と遺伝子発現            5章 生物の環境応答            6章 生態と環境         </td></tr> </table>				前期	後期	1章 生物の進化 2章 生命現象と物質 3章 遺伝情報の発現	4章 発生と遺伝子発現 5章 生物の環境応答 6章 生態と環境			
前期	後期										
1章 生物の進化 2章 生命現象と物質 3章 遺伝情報の発現	4章 発生と遺伝子発現 5章 生物の環境応答 6章 生態と環境										
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	生物や生物現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。							
			思考・判断・表現	理科の見方・考え方を働きさせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。							
			主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり科学的に探究し、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与ようとしている。							
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 単位の科目のため、週に 2 回（1 回 2 時間）授業があるので注意すること。</li> <li>理工学系の大学や医療・看護系の大学及び専門学校への進学を考える場合、「理科・数学ゼミ」に参加を希望する場合は、「生物」と合わせて以下の講座を受講することが望ましい。 「化学基礎」「化学」「生物研究 3」</li> </ul>										

専門教科 理科	科目	物理研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等	本校自作プリント			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>理工系の大学進学を希望している生徒</li> <li>理科・数学ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>						
学習内容	<p>前期</p> <p>物理基礎・物理（4 単位）で扱いきれなかった内容を学習する（例：原子物理範囲など）とともに、様々な物理実験（力学・熱力学）に取り組む。</p>			<p>後期</p> <p>物理基礎・物理（4 単位）で扱いきれなかった内容を学習する（例：原子物理範囲など）とともに、様々な物理実験（波動・電磁気学）に取り組む。</p>			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	観察、実験などを通して物理現象を理解しているとともに、それらの観察、実験の基本操作や記録などの技能を身に付けています。			
			思考・判断・表現	物理現象を数式やグラフで定量的にまとめたり、言葉で定性的に説明することができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	物理現象の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>理工系の大学進学を考える場合や「理科・数学ゼミ」に参加を希望する場合は、本講座を受講することが望ましい。</li> <li>物理（4 単位）を修得済みであることが望ましい。</li> <li>数学の知識が必須です。「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学B」「数学C」の受講もお勧めします。</li> </ul>						

専門教科 理科	科目	化学研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等	本校自作プリント			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>理学系の大学や医療・看護系専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>理科・数学ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>						
学習内容	<p>前期</p> <p>化学基礎・化学（4 単位）で扱いきれなかった内容を学習する（例：有機化学）とともに受験に向けた演習を行う。</p>			<p>後期</p>			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	物質とその変化についての基礎・基本を理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。			
			思考・判断・表現	理科の見方・考え方を働きかせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。			
			主体的に学習に取り組む態度	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>理学系の大学や医療・看護系の大学及び専門学校への進学を考える場合、「理科・数学ゼミ」に参加を希望する場合は、本講座を受講することが望ましい。</li> <li>化学（4 単位）を修得済みであることが望ましい。</li> </ul>						

専門教科 理科	科目	生物研究 3		種類	自由選択	単位数	2				
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等	本校自作プリント							
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理学系の大学や医療・看護系専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>・ 理科・数学ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>										
学習内容	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">前期</td> <td style="text-align: center;">後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生物基礎・生物（4 単位）で扱いきれなかった内容を学習する。（例：生態系と環境の範囲など）とともに、さまざまな生物実験に取り組む。</td> </tr> </table>			前期	後期	生物基礎・生物（4 単位）で扱いきれなかった内容を学習する。（例：生態系と環境の範囲など）とともに、さまざまな生物実験に取り組む。					
前期	後期										
生物基礎・生物（4 単位）で扱いきれなかった内容を学習する。（例：生態系と環境の範囲など）とともに、さまざまな生物実験に取り組む。											
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	生物や生物現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。							
			思考・判断・表現	理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究すると共に実験データの分析・解釈などを報告書により表現できる。							
			主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象に主体的に関わり科学的に探究し、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与ようとしている。							
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理学系の大学や医療・看護系の大学及び専門学校への進学を考える場合、「理科・数学ゼミ」に参加を希望する場合は、本講座を受講することが望ましい。</li> <li>・ 生物（4 単位）を修得済みであることが望ましい。</li> <li>・ 履修登録前に生物担当教員に相談すること。</li> </ul>										

# 保健体育

## <体育の卒業要件>

「体育」は**7単位以上履修しないと卒業することができません。**「体育A」～「体育E」の講座を組み合わせることで7単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。

- 例　① 1年次：体育A（2）、2年次：体育B（1）+体育C（2）、3年次：体育D（2）= 7単位  
② 1年次：体育A（2）、2年次：体育B（1）、3年次：体育D（2）、4年次：体育E（2）= 7単位

## <保健の卒業要件>

「保健」は**2単位以上履修しないと卒業することができません。**1年次「保健A」と2年次「保健B」の講座を両方履修することで2単位となります。

科目名	種類	履修条件	単位数	備考
体育 A	必履修	1年次指定科目	2	
体育 B	必履修	2年次指定科目	1	
体育 C	選択必履修	2年次のみ	2	
体育 D	選択必履修	3年次以上	2	
体育 E	選択必履修	3年次以上	2	
保健 A	必履修	1年次指定科目	1	
保健 B	必履修	2年次指定科目	1	
ダンス入門	自由選択	なし	2	
スポーツ研究 2	自由選択	2年次以上	2	
スポーツ研究 3	自由選択	3年次以上	2	

共通教科 保健体育	科目	体育 A		種類	必履修	単位数	2
履修条件	1 年次指定科目		教科書・教材等	現代高等保健体育 改訂版（大修館）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 年次に全員がクラスごとに履修</li> </ul>						
学習内容	前期			後期			
	① 体つくり運動 ② 陸上競技			③ 球技 ④ 体育理論			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 技能点	観点別の評価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。			
			思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。			
			主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育は 7 単位以上を履修しないと卒業することができません。「体育 A」～「体育 E」の講座を組み合わせることで 7 単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。            例：1 年次：体育 A (2)、2 年次：体育 B (1) + 体育 C (2)、3 年次：体育 D (2) = 7 単位            例：1 年次：体育 A (2)、2 年次：体育 B (1)、3 年次：体育 D (2)、4 年次：体育 E (2) = 7 単位</li> <li>「体育ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。            「スポーツ研究 2」「スポーツ研究 3」</li> </ul>						

共通教科 保健体育	科目	体育 B		種類	必履修	単位数	1
履修条件	2 年次指定科目		教科書・教材等	現代高等保健体育（大修館）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 年次に全員がクラスごとに履修</li> </ul>						
学習内容	前期			後期			
	① 体つくり運動 ② 球技			③ 陸上競技 ④ 体育理論			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 技能点	観点別の評価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。			
			思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。			
			主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育は 7 単位以上を履修しないと卒業することができません。「体育 A」～「体育 E」の講座を組み合わせることで 7 単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。            例：1 年次：体育 A (2)、2 年次：体育 B (1) + 体育 C (2)、3 年次：体育 D (2) = 7 単位            例：1 年次：体育 A (2)、2 年次：体育 B (1)、3 年次：体育 D (2)、4 年次：体育 E (2) = 7 単位</li> <li>「体育ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。            「スポーツ研究 2」「スポーツ研究 3」</li> </ul>						

共通教科 保健体育	科目	体育 C		種類	選択必履修	単位数	2			
履修条件	2年次生のみ履修可能		教科書・教材等	現代高等保健体育（大修館）						
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業までに体育の修得単位数が7単位以上になるよう、「体育C」～「体育E」を組み合わせて受講すること。</li> </ul>									
学習内容	前期			後期						
評価・評定の方法	① 体つくり運動 ② 球技		観点別の評価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。					
	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 技能点		思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。						
	① 主体的に学習に取り組む態度		運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。							
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育は7単位以上を履修しないと卒業することができません。「体育A」～「体育E」の講座を組み合わせることで7単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。 例：1年次：体育A（2）、2年次：体育B（1）+体育C（2）、3年次：体育D（2）=7単位 例：1年次：体育A（2）、2年次：体育B（1）、3年次：体育D（2）、4年次：体育E（2）=7単位</li> <li>「体育ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「スポーツ研究2」「スポーツ研究3」</li> </ul>									

共通教科 保健体育	科目	体育 D		種類	選択必履修	単位数	2			
履修条件	3年次以上で履修可能		教科書・教材等	現代高等保健体育（大修館）						
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業までに体育の修得単位数が7単位以上になるよう、「体育C」～「体育E」を組み合わせて受講すること。</li> </ul>									
学習内容	前期			後期						
評価・評定の方法	① 体つくり運動 ② 陸上競技		観点別の評価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。					
	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 技能点		思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。						
	① 主体的に学習に取り組む態度		運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。							
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育は7単位以上を履修しないと卒業することができません。「体育A」～「体育E」の講座を組み合わせることで7単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。 例：1年次：体育A（2）、2年次：体育B（1）+体育C（2）、3年次：体育D（2）=7単位 例：1年次：体育A（2）、2年次：体育B（1）、3年次：体育D（2）、4年次：体育E（2）=7単位</li> <li>「体育ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「スポーツ研究2」「スポーツ研究3」</li> </ul>									

共通教科 保健体育	科目	体育 E	種類	選択必履修	単位数	2
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業までに体育の修得単位数が 7 単位以上になるよう、「体育 C」～「体育 E」を組み合わせて受講すること。</li> </ul>					
学習内容	前期 ① 体つくり運動 ② 陸上競技			後期 ③ 球技 ④ 体育理論		
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 技能点	観点別の評価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。		
			思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。		
			主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、共生を大切にしようとする態度が身に付いている。		
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育は 7 単位以上を履修しないと卒業することができません。「体育 A」～「体育 E」の講座を組み合わせることで 7 単位以上になるよう卒業までの計画を立ててください。            例：1 年次：体育 A（2）、2 年次：体育 B（1）+ 体育 C（2）、3 年次：体育 D（2）= 7 単位            例：1 年次：体育 A（2）、2 年次：体育 B（1）、3 年次：体育 D（2）、4 年次：体育 E（2）= 7 単位</li> <li>「体育ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。            「スポーツ研究 2」「スポーツ研究 3」</li> </ul>					

共通教科 保健体育	科目	保健 A	種類	必履修	単位数	1
履修条件	1 年次指定科目		教科書・教材等	現代高等保健体育（大修館）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 年次に全員がクラスごとに履修</li> </ul>					
学習内容	前期 ① 現代社会と健康			後期 ② 現代社会と健康 ③ 安全な社会生活		
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 確認テスト	観点別の評価	知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解しているとともに、自己の健康を管理することができる。		
			思考・判断・表現	健康について自他社会の課題を発見し、解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。		
			主体的に学習に取り組む態度	学習したことを活かし、自分の生活習慣や健康状態を改善したり、レジリエンスを高めようとする態度が身に付いている。		
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「保健」は 2 単位を履修しないと卒業することができません。            本講座「保健 A（1 単位）」と 2 年次「保健 B（1 単位）」の講座を両方履修することで 2 単位となります。</li> </ul>					

共通教科 保健体育	科目	保健 B		種類	必履修	単位数	1
履修条件	2 年次指定科目		教科書・教材等	現代高等保健体育（大修館）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 年次に全員がクラスごとに履修</li> </ul>						
学習内容	前期			後期			
評価・評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業への取り組み</li> <li>提出物</li> <li>確認テスト</li> </ul>	観点別の評価	知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解しているとともに、自己の健康を管理することができる。			
			思考・判断・表現	健康について自他社会の課題を発見し、解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	学習したことを活かし、自分の生活習慣や健康状態を改善したり、レジリエンスを高めようとする態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「保健」は 2 単位を履修しないと卒業できません。</li> <li>1 年次「保健 A（1 単位）」と本講座「保健 B（1 単位）」を両方履修することで 2 単位となります。</li> </ul>						

専門教科 保健体育	科目	ダンス入門		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	なし		教科書・教材等				
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダンスを通じて体を動かしたい生徒</li> </ul>						
学習内容	前期			後期			
評価・評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業への取り組み</li> <li>技能点</li> </ul>	観点別の評価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。			
			思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。			
			主体的に学習に取り組む態度	表現活動を通して、自らの在り方ややり方を創意工夫し、チャレンジする態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>特記事項はありません。</li> </ul>						

専門教科 体育	科目	スポーツ研究 2		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2 年次以上で履修可能		教科書・教材等	現代高等保健体育（大修館）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学等で保健体育の専門的な知識の習得が必要となる生徒。</li> <li>「体育ゼミ」の参加希望者は履修するのが望ましい。</li> </ul>						
学習内容	前期 種目選択制 生徒主導型 学習レポート作成			後期			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 技能点 ④ 提出物		観点別の評価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。		
				思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。		
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>特記事項はありません。</li> </ul>						

専門教科 体育	科目	スポーツ研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等	現代高等保健体育（大修館）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学等で保健体育の専門的な知識の習得が必要となる生徒。</li> <li>「体育ゼミ」の参加希望者は履修するのが望ましい。</li> </ul>						
学習内容	前期 種目選択制 生徒主導型 学習レポート作成			後期			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 技能点 ④ 提出物		観点別の評価	知識・技能	生涯にわたって運動に親しむための効果的な学習の仕方について理解しているとともに、それらの技能が身に付いている。		
				思考・判断・表現	課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断することができているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。		
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>特記事項はありません。</li> </ul>						

# 芸術

科目名	種類	履修条件	単位数	備考
音楽Ⅰ	選択必履修	なし	2	
音楽演習2	自由選択	2年次以上 ※「音楽Ⅰ」履修者が望ましい	2	
音楽演習3	自由選択	3年次以上 ※「音楽演習2」履修者が望ましい	2	
音楽研究2	自由選択	2年次以上	2	
音楽研究3	自由選択	3年次以上 ※「音楽研究2」履修者が望ましい	2	
軽音楽入門	自由選択	3年次以上 ※楽譜が読める者が望ましい	2	
DTM入門	自由選択	3年次以上 ※『「音楽Ⅰ」「音楽演習2または3」』 もしくは『「音楽研究2」「音楽研究3」』 履修者が望ましい	2	
美術Ⅰ	選択必履修	なし	2	教材費 4,000
美術演習2	自由選択	2年次以上 ※「美術Ⅰ」もしくは「工芸Ⅰ」修得者が望ましい	2	要事前相談 教材費 5,000
美術演習3	自由選択	3年次以上 ※「美術演習2」修得者が望ましい	2	要事前相談 教材費 5,000
平面研究2	自由選択	2年次以上 ※「美術Ⅰ」もしくは「工芸Ⅰ」修得者が望ましい	2	要事前相談 教材費 15,000
平面研究3	自由選択	3年次以上 ※「平面研究2」修得者が望ましい	2	要事前相談 教材費 15,000
グラフィックデザイン	自由選択	3年次以上 ※「美術Ⅰ」もしくは「工芸Ⅰ」修得者が望ましい	2	要事前相談 教材費 15,000
工芸Ⅰ	選択必履修	なし	2	教材費 5,000
工芸研究2	自由選択	2年次以上 ※「工芸Ⅰ」もしくは「美術Ⅰ」修得者が望ましい	2	要事前相談 教材費 10,000
工芸研究3	自由選択	3年次以上 ※「工芸研究2」修得者が望ましい	2	要事前相談 教材費 10,000
クラフト	自由選択	3年次以上	2	要事前相談 教材費 15,000

共通教科 芸術	科目	音楽Ⅰ	種類	選択必履修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）		教科書・教材等	MOUSAⅠ（教育芸術社）		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次において、本講座か「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」のいずれかを全員が選択する。</li> <li>音楽ゼミに参加を希望する生徒。</li> </ul>					
学習内容	前期			後期		
	① 歌唱 ② 器楽 ③ 音楽理論 ④ ソルフェージュ ⑤ 鑑賞			⑥ 歌唱 ⑦ 器楽 ⑧ 音楽理論 ⑨ ソルフェージュ ⑩ 鑑賞		
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 実技テスト 小テスト	観点別の評価	知識・技能	曲想や音楽の多様性について理解しているとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能が身に付いている。		
			思考・判断・表現	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞くことができる。		
			主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽に親しむために、感性を高め、音楽によって生活や社会を豊かにしていく態度が身に付いている。		
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽研究2」「音楽研究3」</li> <li>音楽を進路先で必要とする生徒（保育系志望者など）や音楽に興味関心がある生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽演習2」「音楽演習3」</li> </ul>					

専門教科 芸術・音楽	科目	音楽演習2	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年次以上で履修可能</li> <li>「音楽Ⅰ」を履修していることが望ましい</li> </ul>		教科書・教材等	なし		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽Ⅰを履修済みであることが望ましい。</li> <li>自主的に継続した実技練習ができることが望ましい。</li> </ul>					
学習内容	前期			後期		
	① 歌唱 ② 器楽 ③ 鑑賞 ④ 音楽理論			⑤ 歌唱 ⑥ 器楽 ⑦ 鑑賞 ⑧ 創作・アンサンブル		
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 実技テスト 小テスト	観点別の評価	知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。		
			思考・判断・表現	自分なりの考えをもって音楽表現を創意工夫し、音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聞くことができる。楽器の特徴や曲想に合わせた表現をすることができる。		
			主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、多様な音楽文化に親しみ積極的に取り組むことができる。		
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽研究2」</li> </ul>					

専門教科 芸術・音楽	科目	音楽演習 3		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3 年次以上で履修可		教科書・教材等				
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽演習 2 を履修済みであることが望ましい。</li> <li>自主的に継続した実技練習ができることが望ましい。</li> </ul>						
学習内容	前期 ① 歌唱 ② 器楽 ③ 鑑賞 ④ 音楽理論			後期 ⑤ 歌唱 ⑥ 器楽 ⑦ 鑑賞 ⑧ 創作・アンサンブル			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 実技テスト 小テスト	観点別の評価	知識・技能	曲想や音楽の多様性について理解しているとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能が身に付いている。			
			思考・判断・表現	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞くことができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽に親しむために、感性を高め、音楽によって生活や社会を豊かにしていく態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽研究 2」「音楽研究 3」</li> <li>音楽を進路先で必要とする生徒（保育系志望者など）や音楽に興味関心がある生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽演習 2」「音楽演習 3」</li> </ul>						

専門教科 芸術・音楽	科目	音楽研究 2		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2 年次以上で履修可能		教科書・教材等		なし		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽ゼミ選択者で、音楽系の進学（特に音大）を希望する生徒</li> <li>音符や楽譜が読めることが望ましい。</li> </ul>						
学習内容	前期 ① 音楽理論(楽譜の仕組み・音程) ② ソルフェージュ(新曲視唱・聴音) ③ 音楽史 ④ 歌唱・器楽			後期 ⑤ 音楽理論(音階・調・和音) ⑥ ソルフェージュ(新曲視唱・聴音) ⑦ 音楽史 ⑧ 歌唱・器楽			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 実技テスト 小テスト	観点別の評価	知識・技能	視唱及び聴音に関する知識や技能を身に付けています。基礎的な理論について理解し、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けています。			
			思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素の働きやその効果、様式を踏まえた演奏に関する思考力・判断力・表現力等が身についている。			
			主体的に学習に取り組む態度	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を主体的に積極的に取り組めている。音楽理論を音楽表現や鑑賞に生かそうとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、あわせて「音楽演習 2」を受講することが望ましい。</li> </ul>						

専門教科 芸術・音楽	科目	音楽研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	・ 3年次以上で履修可能		教科書・教材等	なし			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>「音楽研究 2」を履修していることが望ましい。</li> <li>音楽ゼミ選択者で、音楽系の進学（特に音大）を希望する生徒</li> <li>音符や楽譜の基礎的な知識があることが望ましい。</li> </ul>						
学習内容	<p>前期</p> ① 音楽理論(楽譜の仕組み・音程) ② ソルフェージュ(新曲視唱・聴音) ③ 音楽史 ④ 歌唱・器楽			<p>後期</p> ⑤ 音楽理論(音階・調・和音) ⑥ ソルフェージュ(新曲視唱・聴音) ⑦ 音楽史 ⑧ 歌唱・器楽			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 実技テスト 小テスト	観点別の評価	知識・技能	視唱及び聴音に関する知識や技能を身に付けている。基礎的な理論について理解し、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けている。			
			思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素の働きやその効果、様式を踏まえた演奏に関する思考力・判断力・表現力等が身についている。			
			主体的に学習に取り組む態度	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を主体的に積極的に取り組めている。音楽理論を音楽表現や鑑賞に生かそうとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を進路先で必要とする生徒（保育系志望者など）や、音楽に興味関心がある生徒は、それぞれ希望の進路に合わせて、以下の講座を受講することが望ましい。  「DTM 入門」「軽音楽入門」「音楽演習 3」 </li> </ul>						

専門教科 芸術・音楽	科目	軽音楽入門		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年次以上で履修可能</li> <li>楽譜が読めることが望ましい</li> </ul>		教科書・教材等	なし			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>音響技術や舞台裏方に興味関心のある生徒。</li> <li>軽音楽演奏に興味関心のある生徒。</li> </ul>						
学習内容	<p>前期</p> ① 音響機器の基本操作 ② TAB 譜・リズム譜の読み方 ③ 楽器演奏基礎			<p>後期</p> ④ 舞台構成、裏方実務 ⑤ 文化祭にて舞台音響実習 ⑥ 軽音楽演奏実習			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 実技テスト レポート	観点別の評価	知識・技能	軽音楽に関する知識や、技能を身に付けている。基礎的な理論について理解し、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けている。			
			思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素の働きやその効果、様式を踏まえた演奏に関する思考力・判断力・表現力等が身についている。			
			主体的に学習に取り組む態度	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を主体的に積極的に取り組めている。音楽理論を音楽表現や鑑賞に生かそうとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。  「音楽研究 3」</li> <li>音楽を進路先で必要とする生徒（保育系志望者など）や、音楽に興味関心がある生徒は、それぞれ希望の進路に合わせて、以下の講座を受講することが望ましい。  「DTM 入門」「音楽演習 3」 </li> </ul>						

専門教科 芸術・音楽	科目	DTM 入門		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等	なし			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>作曲や編曲に興味関心のある生徒。</li> <li>「音楽Ⅰ」「音楽演習2か3」もしくは「音楽研究」を履修していることが望ましい。</li> </ul>						
学習内容	前期 ① DTM の基本操作・基礎知識 ② 楽典（音楽の仕組み、和声進行等） ③ 作曲の基本			後期 ④ DTM 基礎実習 ⑤ 楽典 ⑥ 作曲			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 実技テスト 小テスト	観点別の評価	知識・技能	DTM に関する知識や、技能を身に付けている。基礎的な理論について理解し、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けている。			
			思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素の働きやその効果、様式を踏まえた演奏に関する思考力・判断力・表現力等が身についている。			
			主体的に学習に取り組む態度	音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を主体的に積極的に取り組めている。音楽理論を創作や音楽表現、鑑賞に生かそうとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「音楽ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「音楽研究3」</li> <li>音楽を進路先で必要とする生徒（保育系志望者など）や、音楽に興味関心がある生徒は、それぞれ希望の進路に合わせて、以下の講座を受講することが望ましい。 「軽音楽入門」「音楽演習3」</li> </ul>						

共通教科 芸術	科目	美術Ⅰ		種類	選択必履修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）		教科書・教材等	新・高校生の美術Ⅰ（日本文教出版） 教材費 4,000 円程度			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次において、本講座か「音楽Ⅰ」「工芸Ⅰ」のいずれかを全員が選択する。</li> <li>美術工芸ゼミに参加を希望する生徒</li> </ul>						
学習内容	前期 ・ 描画基礎 ・ 絵画（着彩、点描、版画等） ・ 立体			後期			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題内容 ④ 課題提出状況	観点別の評価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。			
			思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 30 名</li> <li>「美術・工芸ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「平面研究2」「平面研究3」</li> <li>美術を進路先で必要とする生徒や美術に興味関心が高い生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「美術演習2」「美術演習3」</li> </ul>						

専門教科 芸術・美術	科目	美術演習 2		種類	自由選択	単位数	2			
履修条件	2 年次以上で履修可能		教科書・教材等	教材費 5,000 円程度						
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>「美術！」または「工芸！」を履修修得していることが望ましい。</li> <li>美術工芸ゼミ選択者で、美術系の進学（特に美大）を希望し、受験対策としてデッサン力を身につける必要がある生徒</li> </ul>									
学習内容	前期 ① グレースケール ② 鉛筆デッサン（幾何形体）			後期 ③ 鉛筆デッサン（静物） ④ 構成						
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題内容 ④ 課題提出状況		観点別の評価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。					
お薦め講座 ・備考			思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。						
			主体的に学習に取り組む態度	主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。						
・ 定員 15 名 ・ 履修登録前に必ず相談に来ること。 ・ 美術デザイン分野の受験に向けて描写や構成の力を高めることを目的とした講座。 ・ 様々な画材の扱い方や技法を学びたい生徒は、「平面研究 2」または「工芸研究 2」も合わせて受講してください。 ・ 美術を進路先で必要とする生徒や美術への興味関心が高い生徒は、「美術演習 3」を受講することが望ましい。										

専門教科 芸術・美術	科目	美術演習 3		種類	自由選択	単位数	2			
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等	教材費 5,000 円程度						
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>「美術！」または「工芸！」と、「美術演習 2」を履修修得していることが望ましい。</li> <li>美術工芸ゼミ選択者で、美術系の進学（特に美大）を希望し、受験対策としてデッサン力を身につける必要がある生徒</li> </ul>									
学習内容	前期 ① ポートフォリオ制作 ② 石膏デッサン			後期 ① 構成デッサン ② 想定デッサン ③ 自由テーマによるデッサン						
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題内容 ④ 課題提出状況		観点別の評価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。					
お薦め講座 ・備考			思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。						
			主体的に学習に取り組む態度	主体的に幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。						
・ 定員 10 名 ・ 履修登録前に必ず相談に来ること。 ・ 美術デザイン分野の受験に向けて描写や構成の力を高めることを目的とした講座。 ・ 様々な画材の扱い方や技法を学びたい生徒は、「平面研究 2」、「平面研究 3」、「工芸研究 2」、「工芸研究 3」の内から興味のある科目を合わせて受講してください。 ・ ポートフォリオ制作では、高校入学後に制作した作品の写真が必要です。										

専門教科 芸術・美術	科目	平面研究 2		種類	自由選択	単位数	2			
履修条件	2 年次以上で履修可能		教科書・教材等		教材費 15,000 円程度					
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>「美術！」もしくは「工芸！」を履修修得していることが望ましい。</li> <li>美術・デザイン分野の進路を希望する者。</li> <li>美術工芸ゼミ選択者。</li> </ul>									
学習内容	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現技法研究 1（コラージュ・色彩等）</li> </ul>			<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現技法研究 2（版画・描画等）</li> </ul>						
評価・評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 出席状況</li> <li>② 授業への取り組み</li> <li>③ 課題内容</li> <li>④ 課題提出状況</li> </ul>		観点別の評価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。					
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 15 名</li> <li>履修登録前に必ず相談に来ること。</li> <li>「美術・工芸ゼミ」を希望する生徒、美術を進路先で必要とする生徒、美術に興味関心が高い生徒は以下の講座を受講することが望ましい。</li> <li>「美術演習 2」、「平面研究 2（本講座）」</li> </ul>									

専門教科 芸術・美術	科目	平面研究 3		種類	自由選択	単位数	2			
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等		教材費 15,000 円程度					
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>「美術！」、「平面研究 2」を修得していることが望ましい。</li> <li>美術・デザイン分野の進路を希望する者。</li> <li>美術・デザイン分野の学習内容に強い興味関心を持つ者。</li> <li>美術工芸ゼミ生</li> </ul>									
学習内容	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現技法研究 1（デザイン、版画等）</li> </ul>			<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現技法研究 2（素材・表現研究、描画、発表等）</li> </ul>						
評価・評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 出席状況</li> <li>② 授業への取り組み</li> <li>③ 課題内容</li> <li>④ 課題提出状況</li> </ul>		観点別の評価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。					
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 15 名</li> <li>履修登録前に必ず相談に来ること。</li> <li>美術工芸ゼミ生、美術・デザイン分野への進路希望者、美術に高い興味関心を持つ者が望ましい。</li> <li>「美術！」、「平面研究 2」の内容から発展したものを学習するため、「美術！」、「平面研究 2」を修得した者が望ましい。</li> <li>個人の制作以外にも、話し合いや、準備・片付けなど、グループで取り組む内容がある。</li> </ul>									

専門教科 芸術・美術	科目	グラフィックデザイン		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3年次以上で履修可能		教科書・教材等	教材費：15,000円程度 副教材：色彩ワークショップ（日本色研事業株式会社）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>「美術！」を修得していることが望ましい。</li> <li>美術・デザイン分野に興味があり、平面構成やイラストについて学び、作品制作や発表することに関心・意欲がある。細かい作業や継続して制作する意欲がある生徒に向いています。</li> </ul>						
学習内容	<p>前期</p> <p>① グラフィックデザインの基礎について ② 色彩演習 ③ 平面構成</p>			<p>後期</p> <p>④ マスコットキャラクターのデザイン ⑤ 感情表現差分の作成 ⑥ ポスター制作</p>			
評価・評定の方法	<p>① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題内容 ④ 課題提出状況</p>	観点別の評価	知識・技能	対象や事象を捉える視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。			
			思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、写真やイラストの技術について考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって作品に対する見方や感じ方を深めたりすることができます。			
			主体的に学習に取り組む態度	主体的に制作・発表などの幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 20名</li> <li>絵の具や道具など画材が必要なため、教材費がかかります。</li> </ul>						

共通教科 芸術	科目	工芸 I		種類	選択必履修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）		教科書・教材等	工芸 I（日本文教出版） 教材費 5,000円程度			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次において、本講座か「音楽！」「美術！」のいずれかを全員が選択する。</li> <li>美術・工芸ゼミに参加を希望する生徒</li> </ul>						
学習内容	<p>前期</p> <p>① ペーパークラフト ② 木材工芸</p>			<p>後期</p> <p>③ 木材工芸 ④ 金属工芸 ⑤ 編んで作る工芸</p>			
評価・評定の方法	<p>① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題提出</p>	観点別の評価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。			
			思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができます。			
			主体的に学習に取り組む態度	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 20名</li> <li>「美術・工芸ゼミ」に参加を希望する生徒は、以下の講座を2年次以降受講することが望ましい。 「工芸研究2」「工芸研究3」</li> </ul>						

専門教科 芸術・工芸	科目	工芸研究 2		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年次以上で履修可能</li> <li>「美術！」または「工芸！」を修得していることが望ましい。</li> </ul>		教科書・教材等	教材費 10,000円程度			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>工芸について学び、様々な素材で物を作ります。</li> <li>集中して静かにモノを作ることができる生徒に向いています。日本全国のモノづくりについても調べ研究します。</li> </ul>						
学習内容	前期 ① 木工制作 ② 日本の伝統工芸制作 ③ 日本の伝統工芸品についての研究（レポート）			後期 ④ 木工制作 ⑤ 日本の伝統工芸品制作			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題提出	観点別の評価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。			
			思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 20名</li> <li>「美術・工芸ゼミ」を希望する生徒、美術や工芸を進路先で必要とする生徒にお勧めです。</li> </ul>						

専門教科 芸術・工芸	科目	工芸研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3年次以上で履修可能		教科書・教材等	教材費 10,000円程度			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に工芸について学びます。工芸研究 2 の発展になるので履修修得していることが望ましい。</li> </ul>						
学習内容	前期 ① ランドスケープデザイン ② 金工制作 ③ 伝統工芸制作			後期 ④ 木工制作 ⑤ 伝統工芸制作			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題提出	観点別の評価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。			
			思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 20名</li> <li>「美術・工芸ゼミ」を希望する生徒、美術や工芸を進路先で必要とする生徒にお勧めです。</li> <li>「工芸研究 2」を修得した生徒対象の専門性の高い授業になります。</li> </ul>						

専門教科 芸術・工芸	科目	クラフト		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3年次以上で履修可能		教科書・教材等	教材費等15,000円程度			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>静かにモノを作ることが好きな生徒向きです。</li> <li>陶芸や装身具に興味があり、デザインを考えたり削ったり磨いたりすることに集中することができる</li> </ul>						
学習内容	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陶芸制作 粘土を使用した制作を行います。</li> </ul>			<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジュエリー等装身具（身に付ける物・アクセサリー）などを制作します。金属等様々な材料を使用します。</li> </ul>			
評価・評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>①出席状況</li> <li>②授業への取り組み</li> <li>③課題提出</li> </ul>	観点別の評価	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。			
			思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、金属工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	主体的に金属工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、金属工芸の伝統と技術に取り組み、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。			
お薦め講座 ・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員20名</li> <li>粘土や絵具、材料や道具など画材が必要なため、教材費がかかります。</li> </ul>						

# 外国語

## 英語

科目名	種類	履修条件	単位数	備考
英語コミュニケーションⅠ	必履修	なし (1年次指定科目)	2	
英語コミュニケーションⅡ	自由選択	「英語コミュニケーションⅠ」 を履修済み	4	
英語コミュニケーションⅢ	自由選択	「英語コミュニケーションⅡ」 を履修済み	4	
論理・表現Ⅰ	自由選択	なし	2	
論理・表現Ⅱ	自由選択	「論理・表現Ⅰ」を履修済み	2	
英語プラス	自由選択	なし	2	
英語研究3	自由選択	3年次以上	2	

共通教科 外国語・英語	科目	英語コミュニケーションⅠ	種類	必履修	単位数	2
履修条件	なし（1年次指定科目）	教科書・教材等	Revised Amity English Communication I (開隆堂) Revised Amity English Communication I ワークブック (開隆堂)			
受講対象	・1年次に全員が必ず履修					
学習内容	前期			後期		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語でのやり取り</li> <li>英語の文章を読み、読解に必要な文法や単語の学習</li> <li>英語を聞いて、答えるトレーニング</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>英語でのやり取り</li> <li>英語の文章を読み、読解に必要な文法や単語の学習</li> <li>英語を聞いて、答えるトレーニング</li> <li>英語検定に向けての学習</li> </ul>		
評価・評定の方法	①出席状況 ②授業への取り組み ③提出物 ④定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	外国語の基本的事項について理解を深め、読む・聞く・話す・書くの4技能を活用できる。		
			思考・判断・表現	外国語で情報や意図などを理解することができる。		
			主体的に学習に取り組む態度	CYOD や BYOD を駆使し、主体的に発話活動に取り組む姿勢がある。		
お勧め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「英語ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。</li> <li>「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「英語研究3」</li> <li>「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」</li> <li>四年制大学の進学を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。</li> <li>「英語コミュニケーションⅡ」「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」</li> </ul>					

共通教科 外国語・英語	科目	英語コミュニケーションⅡ	種類	自由選択	単位数	4
履修条件	「英語コミュニケーションⅠ」を履修済み	教科書・教材等	Amity English Communication II (開隆堂) Amity English Communication II ワークブック(開隆堂)			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学進学を考えている生徒</li> <li>英語ゼミへの参加を希望している生徒</li> <li>英語でのコミュニケーションに興味がある生徒</li> </ul>					
学習内容	前期			後期		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語でのやり取り</li> <li>英語の文章を読み、読解に必要な文法や単語の学習</li> <li>英語を聞いて、答えるトレーニング</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>英語でのやり取り</li> <li>英語の文章を読み、読解に必要な文法や単語の学習</li> <li>英語を聞いて、答えるトレーニング</li> <li>英語検定に向けての学習</li> </ul>		
評価・評定の方法	①授業内の活動 ②提出物 ③各課題での表現 ④テストでの授業理解度	観点別の評価	知識・技能	・英語の文法、単語を理解している		
			思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語でのやり取りができる。</li> <li>英語を読んだり聞いたりして、適切に対応できる。</li> </ul>		
			主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだ知識を活用して、自身のことを表現しようとしている。</li> <li>英語の学習に意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>		
お勧め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>4単位科目のため、週に2回（1回2時間）授業があるので注意すること。</li> <li>英語検定の勉強も自分で継続して取り組むことが望ましい。特に、大学進学を推薦入試での受験を希望する場合。</li> <li>大学進学を、一般受験（筆記試験で）希望する場合は、次の講座を受講することが望ましい。「論理・表現Ⅰ及びⅡ」、（次年度に「英語コミュニケーションⅢ」）</li> </ul>					

共通教科 外国語・英語	科目	英語コミュニケーションIII	種類	自由選択	単位数	4
履修条件	「英語コミュニケーションII」を履修済み		教科書・教材等	All Aboard! English CommunicationIII (東京書籍) ワークブック (東京書籍)		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学進学を考えている生徒</li> <li>英語ゼミを受講している生徒</li> <li>英語でのコミュニケーションに興味がある生徒</li> </ul>					
学習内容	前期			後期		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語でのやり取り</li> <li>英語の文章の読解に必要な文法や単語の学習</li> <li>英語を聞いて、答えるトレーニング</li> <li>大学受験に向けての学習</li> </ul>					
評価・評定の方法	① 授業内の活動 ② 提出物 ③ 各課題での表現 ④ テストでの授業理解度	観点別の評価	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の文法、単語を理解している</li> </ul>		
			思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語でのやり取りができる。</li> <li>英語を読みだり聞いたりして、適切に対応できる。</li> </ul>		
			主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだ知識を活用して、自身のことを表現しようとしている。</li> <li>英語の学習に意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>		
お勧め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>4単位科目のため、週に2回（1回2時間）授業があるので注意すること。</li> <li>英語検定の勉強も自分で継続して取り組むことが望ましい。特に、大学進学を推薦入試での受験を希望する場合。</li> <li>大学進学を、一般受験（筆記試験で）希望する場合は、「論理・表現II」も受講していることが望ましい。</li> </ul>					

共通教科 外国語・英語	科目	論理・表現I	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	なし	教科書・教材等	MY WAY(三省堂) MY WAY English Logic and Expression I WORKBOOK(三省堂)			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学進学を考えている生徒</li> <li>英語ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>					
学習内容	前期			後期		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語で書くこと、話すことを中心に必要な文法力、表現力を養う。</li> <li>論理・表現Iの内容を復習し、発展させる。</li> </ul>					
評価・評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業への取り組み</li> <li>提出物</li> <li>定期考查</li> <li>小テスト</li> </ul>	観点別の評価	知識・技能	日常の身近な話題について、聞く・話すの2技能を活用できる。		
			思考・判断・表現	外国語で情報や考え方、話し手や書き手の意図などを的確に理解する。		
			主体的に学習に取り組む態度	主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。		
お勧め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「英語ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「英語コミュニケーションII」「英語コミュニケーションIII」「英語研究3」「論理・表現II」</li> <li>四年制大学の進学を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「英語コミュニケーションII」「英語コミュニケーションIII」「論理・表現II」</li> </ul>					

共通教科 外国語・英語	科目	論理・表現Ⅱ	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	論理・表現Ⅰを履修済み		教科書・教材等	MY WAY II (三省堂) MY WAY English Logic and Expression II WORKBOOK(三省堂)		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学進学を考えている生徒</li> <li>英語ゼミへの参加を希望している生徒</li> <li>英語でのコミュニケーションに興味がある生徒</li> </ul>					
学習内容	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語で書くこと、話すことを中心に必要な文法力、表現力を養う。</li> <li>論理・表現Ⅰの内容を復習し、発展させる。</li> </ul>			<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語で書くこと、話すことを中心に必要な文法力、表現力を養う。</li> <li>大学進学を意識した学習活動を行う。</li> </ul>		
評価・評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内の活動</li> <li>提出物</li> <li>各課題での表現</li> <li>テストでの授業理解度</li> </ul>	観点別の評価	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の文法、単語を理解している</li> </ul>		
			思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語でのやり取りができる。</li> <li>英語を読んだり聞いたりして、適切に対応できる。</li> </ul>		
			主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだ知識を活用して、自身のことを表現しようとしている。</li> <li>英語の学習に意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>		
お勧め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語検定の勉強も自分で継続して取り組むことが望ましい。特に、大学進学を推薦入試での受験を希望する場合。</li> <li>大学進学を一般受験（筆記試験で）希望する場合は、次の講座を受講することが望ましい。 「英語コミュニケーションⅡ」</li> </ul>					

専門教科 外国語・英語	科目	英語プラス	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	なし		教科書・教材等	ICT教材 スタディサプリ		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>義務教育課程の内容を学び直したい生徒</li> <li>大学進学に向けた対策を行いたい生徒</li> </ul>					
学習内容	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な内容から大学受験までの幅広いレベルと内容から、自分自身で学びたいものを決めてもらいます。「〇〇の時期までに◇◇の視聴を終える」といった計画も立てます。</li> </ul>			<p>後期</p>		
評価・評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業への取り組み</li> <li>視聴計画に対する達成度を重視します。</li> <li>提出物</li> </ul>	観点別の評価	知識・技能	外国語の基本的事項について理解を深め、読む・聞く・話す・書くの4技能を活用できる。		
			思考・判断・表現	外国語で情報や意図などを理解することができる。		
			主体的に学習に取り組む態度	自身の学習状況を客観的に判断し、学び直しや受験対策など、一人一人異なる課題を解決しようとしている。		
お勧め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>本授業は「ICT教材：スタディサプリ」を利用した授業となります。</li> <li>右図のように、映像授業を視聴しながら各個人ごとに学習をすすめます。</li> <li>担当の教職員は机間指導をしているので、疑問点がある場合はいつでも質問することができます。</li> </ul>					



専門教科 外国語・英語	科目	英語研究3		種類	自由選択	単位数	2												
履修条件	3年次以上で履修可能		教科書・教材等	教科書なし 副教材を購入(教材については現在選定中)															
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学進学を考えている生徒</li> <li>英語ゼミに所属している生徒</li> <li>英語でのコミュニケーションに興味がある生徒</li> </ul>																		
学習内容	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな話題(自然・科学・文化・国際社会 etc.)に関する英文を読み、自分の意見や考えをまとめ英語で表現する。</li> <li>上記話題についてさらに掘り下げて調べ、講座内で発表を行う。</li> </ul>		<p>後期</p>																
評価・評定の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業への取り組み</li> <li>課題への取り組み</li> <li>提出物</li> <li>確認テスト等による授業理解度</li> </ul>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>観点別の評価</th> <th>知識・技能</th> <th>思考・判断・表現</th> <th>主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常の身近な話題について英語で理解し、知識を深めることができている</li> </ul> </td><td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常の身近な話題について自分の意見や考えをまとめ、英語で表現することができる。</li> </ul> </td></tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語の学習に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>日常の身近な話題を「自分ごと」として捉え、主体的に学習に取り組むことができる</li> </ul> </td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr> </tbody> </table>	観点別の評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の身近な話題について英語で理解し、知識を深めることができている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の身近な話題について自分の意見や考えをまとめ、英語で表現することができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の学習に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>日常の身近な話題を「自分ごと」として捉え、主体的に学習に取り組むことができる</li> </ul>							
観点別の評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																
<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の身近な話題について英語で理解し、知識を深めることができている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の身近な話題について自分の意見や考えをまとめ、英語で表現することができる。</li> </ul>																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の学習に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>日常の身近な話題を「自分ごと」として捉え、主体的に学習に取り組むことができる</li> </ul>																			
お勧め講座 ・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>この講座を受講する生徒は「英語コミュニケーションII」「論理・表現I」「論理・表現II」を履修済みであることが望ましい。</li> <li>3年次以降で開講される外国語の科目として本講座と「英語コミュニケーションIII」があるが、まず4単位の「英語コミュニケーションIII」を履修することが望ましい。</li> </ul>																		

# 家庭

科目名	種類	履修条件	単位数	備考
家庭基礎	必履修	なし (2年次指定科目)	2	教材費 3,000 円程度
被服研究 2 (発展)	自由選択	2年次以上 「家庭基礎」を履修済み、もしくは履修中であることが望ましい。	2	・教材費 1,500 円程度 ・別途材料費 ・要事前相談
被服研究 3 (応用)	自由選択	3年次以上 「被服研究 2」を履修済みであることが望ましい。	2	・教材費 5,000 円程度 ・別途材料費 ・要事前相談
保育福祉研究 2 (発展)	自由選択	2年次以上 「家庭基礎」を履修済み、もしくは履修中であることが望ましい。	2	・教材費 2,000 円程度 ・別途交通費等 ・要事前相談
保育福祉研究 3 (応用)	自由選択	3年次以上 「保育福祉研究 2」を履修済みであることが望ましい。	2	・教材費 2,000 円程度 ・別途交通費等 ・要事前相談
食物研究 2 (発展)	自由選択	2年次以上 「家庭基礎」を履修済み、もしくは履修中であることが望ましい。	2	・教材費 3,000 円程度 ・要事前相談
食物研究 3 (応用)	自由選択	3年次以上 「食物研究 2」を履修済みであることが望ましい。	2	・教材費 8,000 円程度 ・要事前相談
オリジナル服制作入門	自由選択	3年次以上 「家庭基礎」を履修済みであること が望ましい。	2	・教材費 1,200 円程度 ・別途材料費 ・要事前相談

共通教科 家庭	科目	家庭基礎	種類	必履修	単位数	2
履修条件	なし (2年次指定科目)	教科書・教材等	New Creative Living「家庭基礎」で生活をつくろう（大修館） 教材費 3, 000円程度			
受講対象	・ 2年次に全員が必ず履修					
学習内容	前期			後期		
	① 生活設計 ② 家族 ③ 保育・高齢期・共生社会と福祉 ④ 衣生活 ⑤ ホームプロジェクト			⑥ 持続可能な社会 ⑦ 消費・経済 ⑧ 食生活 ⑨ 住生活 ⑩ ホームプロジェクト		
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題 提出物 作品 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。		
			思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述するなど、生涯を見通して課題を解決する。		
			主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする。		
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生活ゼミ」に参加を希望する場合は、本講座を履修・修得し、下記の講座を受講することが望ましい。             <b>【食物系】</b>…「食物研究2（発展）」、「食物研究3（応用）」、「生物基礎」、「化学基礎」、「生物または化学」             <b>【被服系】</b>…「被服研究2（発展）」、「被服研究3（応用）」、「オリジナル服製作入門」             <b>【保育福祉系】</b>…「保育福祉研究2（発展）」、「保育福祉研究3（応用）」                       保育系…「音楽1」、「音楽演習2」「音楽演習3」             <b>【家庭経営系】</b>…「SDGs入門」「売り手と買い手」         </li> </ul>					

専門教科 家庭	科目	被服研究2（発展）	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能 「家庭基礎」を履修済み、もしくは履修中であることが望ましい。	教科書・教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材費 1, 500円程度</li> <li>作品製作として生地（5～6m分）等の材料を各自で購入・持参する必要があります。</li> </ul>			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、大学または短大の家政学部（被服分野専攻）、服飾系の専門学校等に進学を目指す生徒</li> <li>生活ゼミに所属して被服について学びを深めたい生徒</li> </ul>					
学習内容	前期			後期		
	① 服飾の変遷と文化 ② 被服の構成 ③ 被服材料 ④ 被服製作			⑤ 被服製作 ⑥ 総合実習		
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題 提出物 作品	観点別の評価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、衣生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。		
			思考・判断・表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。		
			主体的に学習に取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、衣生活の充実・向上を図ろうとする。		
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 16名</li> <li>「生活ゼミ」【被服系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。</li> <li>「被服研究2（発展）（本講座）」、「被服研究3（応用）」（本講座履修後）</li> <li>履修登録前に、被服担当教員まで必ず相談に来ること。</li> </ul>					

専門教科 家庭	科目	被服研究3（応用）		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年次以上で履修可能</li> <li>「被服研究2」を履修済みであることが望ましい。</li> </ul>		教科書・教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材費5,000円程度</li> <li>作品製作として生地等の材料を各自で購入・持参する必要があります。</li> </ul>			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、大学または短大の家政学部（被服分野専攻）、服飾系の専門学校等に進学を目指す生徒</li> <li>生活ゼミに所属して「被服研究2（発展）」を履修・修得し、さらに学びを深めたい生徒</li> </ul>						
学習内容	前期 ① 服飾の文化と私たちの生活 ② 被服の構成（平面） ③ 被服の構成（立体） ④ 被服製作			後期 ⑤ 被服製作 ⑥ 総合実習			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題 提出物 作品	観点別の評価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、衣生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けています。			
			思考・判断・表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。			
			主体的に学習に取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、衣生活の充実・向上を図ろうとする。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員16名</li> <li>「家庭基礎」を履修・修得していることが望ましい。</li> <li>「生活ゼミ」【被服系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「被服研究3（応用）（本講座）」、「オリジナル服製作入門」（本講座履修後または本講座と並行履修）</li> <li>履修登録前に、被服担当教員まで必ず相談に来ること。</li> </ul>						

専門教科 家庭	科目	保育福祉研究2（発展）		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年次以上で履修可能</li> <li>「家庭基礎」を履修済み、もしくは履修中であることが望ましい。</li> </ul>		教科書・教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材費2,000円程度</li> <li>実習等で交通費や保険料等がかかる場合があります。</li> </ul>			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、大学または短大の家政学部（保育福祉分野専攻）、保育福祉系の専門学校等に進学を目指す生徒</li> <li>生活ゼミに所属して保育福祉について学びを深めたい生徒</li> </ul>						
学習内容	前期 ① 子どもの保育・発達 ② 高齢者の自立生活支援と介護 ③ 子どもの生活と養護 ④ 高齢者・子どもの福祉制度			後期 ① 子どもの文化・表現活動 ② 保育体験・介護体験 ③ 製作			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題 提出物 作品 ④ 定期考查 小テスト	観点別評価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けています。			
			思考・判断・表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。			
			主体的に学習に取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、職業人として地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実・向上を図ろうとする。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生活ゼミ」【保育福祉系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「保育福祉研究2（発展）（本講座）」、「保育福祉研究3（応用）」（本講座履修後） 保育系…「音楽1」、「音楽演習2」、「音楽演習2」</li> <li>履修登録前に、保育担当教員まで必ず相談に来ること。</li> </ul>						

専門教科 家庭	科目	保育福祉研究3（応用）	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年次以上で履修可能</li> <li>「保育福祉研究2（発展）」を履修済みであることが望ましい。</li> </ul>	教科書・教材等		<ul style="list-style-type: none"> <li>教材費2,000円程度</li> <li>実習等で交通費や保険料等がかかる場合があります。</li> </ul>		
受講対象						<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、大学または短大の家政学部（保育福祉分野専攻）、保育福祉系の専門学校等に進学を目指す生徒</li> <li>生活ゼミに所属して保育福祉についてさらに学びを深めたい生徒</li> </ul>
学習内容		前期		後期		
		① 現代の保育福祉事情 ② ケアサービスとホスピタリティ ③ 地域福祉の現状 ④ 認知症介護と障がい者支援		⑤ 子どもの文化・表現活動 ⑥ 保育体験・介護体験 ⑦ 製作		
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題 提出物 作品 ④ 定期考查 小テスト	観点別の評価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けていく。		
			思考・判断・表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。		
			主体的に学習に取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、職業人として地域社会に参画しようとするとともに、生活の充実・向上を図ろうとする。		
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「家庭基礎」を履修・修得していることが望ましい。</li> <li>「生活ゼミ」【保育福祉系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。  「保育福祉研究3（応用）（本講座）」 保育系…「音楽1」、「音楽演習2」、「音楽演習3」</li> <li>履修登録前に、保育担当教員まで必ず相談に来ること。</li> </ul>					

専門教科 家庭	科目	食物研究2（発展）	種類	自由選択	単位数	2
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年次以上で履修可能</li> <li>「家庭基礎」を履修済み、もしくは履修中であることが望ましい。</li> </ul>	教科書・教材等		<ul style="list-style-type: none"> <li>調理実習費（材料費）3,000円程度。</li> </ul>		
受講対象						<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、大学または短大の家政学部（食物・栄養分野専攻）、食物・栄養系の専門学校に進学を目指す生徒</li> <li>生活ゼミに所属して調理や栄養について学びを深めたい生徒</li> </ul>
学習内容		前期		後期		
		① 健康と食生活 ② 栄養と調理 ③ 食文化・テーブルコーディネート ④ 調理の基礎 ⑤ 調理実習		⑤ 調理実習 ⑥ 献立作成 ⑦ 総合実習		
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題 提出物 作品	観点別の評価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、食生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けていく。		
			思考・判断・表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。		
			主体的に学習に取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、職業人として地域社会に参画しようとするとともに、食生活の充実・向上を図ろうとする。		
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員24名</li> <li>「生活ゼミ」【食物系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。  「食物研究2（発展）（本講座）」、「食物研究3（応用）」（本講座履修後）、「生物基礎」、「化学基礎」、「生物または化学」</li> <li>履修登録前に、食物担当教員まで必ず相談に来ること。</li> </ul>					

専門教科 家庭	科目	食物研究3（応用）		種類	自由選択	単位数	2			
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年次以上で履修可能</li> <li>「食物研究2」を履修済みであることが望ましい。</li> </ul>		教科書・教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理実習費（材料費）8,000円程度。</li> </ul>						
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、大学または短大の家政学部（食物・栄養分野専攻）、食物・栄養系の専門学校に進学を目指す生徒</li> <li>生活ゼミに所属して調理や栄養についてさらに学びを深めたい生徒</li> </ul>									
学習内容	前期 ① 調理の基礎と応用・日常食の調理 ② 食文化・和食の調理 ③ 食文化・洋食の調理 ④ 食文化・エスニック料理の調理			後期 ⑤ ライフステージ別の栄養と食生活 ⑥ 調理実習 ⑦ 献立作成 ⑧ 総合実習						
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題 提出物 作品	観点別の評価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、食生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けています。						
			思考・判断・表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。						
			主体的に学習に取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、職業人として地域社会に参画しようとするとともに、食生活の充実・向上を図ろうとする。						
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 24名</li> <li>「家庭基礎」を履修・修得していることが望ましい。</li> <li>「生活ゼミ」【食物系】に参加を希望する生徒は、以下の講座を受講することが望ましい。 「食物研究3（応用）（本講座）」、「生物基礎」、「化学基礎」、「生物または化学」</li> <li>履修登録前に、食物担当教員まで必ず相談に来ること。</li> </ul>									

専門教科 家庭	科目	オリジナル服制作入門		種類	自由選択	単位数	2			
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年次以上で履修可能</li> <li>「家庭基礎」を履修済みであることが望ましい。</li> </ul>		教科書・教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材費 1,200円程度。</li> <li>作品製作として材料を各自で購入・持参する必要があります。</li> </ul>						
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、大学または短大の家政学部（被服分野専攻）、服飾系の専門学校等に進学を目指す生徒 →デザイナー・パターンナー</li> <li>生活ゼミに所属して被服についてさらに学びを深め、独創性を表現したい生徒</li> </ul>									
学習内容	前期 ① 衣服とパターン ② パターンの活用 ③ 被服材料による表現 ④ 被服製作			後期 ⑤ 被服製作 ⑥ 総合実習・発表						
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題 提出物 作品	観点別の評価	知識・技能	実践的・体験的な学習活動を通して、衣生活を主体的に営み、職業人として必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けています。						
			思考・判断・表現	実践的・体験的な学習活動を通して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論述する。						
			主体的に学習に取り組む態度	実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、衣生活の充実・向上を図ろうとする。						
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 16名</li> <li>興味関心に応じて、「被服研究2（発展）」や「被服研究3（応用）（本講座と並行履修）」を選択するとさらに深まります。</li> <li>履修登録前に、被服担当教員まで必ず相談に来ること。</li> </ul>									

# 情 報

科目名	種類	履修条件	単位数	備考
情報Ⅰ	必履修	なし (1年次指定科目)	2	
情報Ⅱ	自由選択	情報Ⅰを履修済み	2	
情報研究2	自由選択	2年次以上	2	
情報研究3	自由選択	3年次以上	2	

共通教科 情報	科目	情報 I		種類	必履修	単位数	2		
履修条件	なし（1年次指定科目）	教科書・教材等		新編情報 I（東京書籍） 新編情報 I 資料ノート（東京書籍）					
受講対象	・ 1年次に全員がクラスごとに履修								
学習内容	前期 ① 情報社会の問題解決 ② コミュニケーションと情報デザイン			後期 ③ コンピュータとプログラミング ④ 情報通信ネットワークとデータ活用					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 小テスト 課題 ⑤ 定期考查	観点別の評価	知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用についての知識・技術を身に付けている。					
			思考・判断・表現	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適かつ効果的に取捨選択して活用し、相手に伝えることができる。					
			主体的に学習に取り組む態度	情報と情報技術を適かつ効果的に活用するとともに、情報社会に主体的に参画しようとしている。					
お薦め講座・備考	・ 「情報ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「情報II」「情報研究2」「情報研究3」 ・ 必履修科目。1年次で未履修の場合、2年次以降で再履修しなければいけません。								

共通教科 情報	科目	情報 II		種類	自由選択	単位数	2		
履修条件	「情報 I」を履修済み	教科書・教材等		情報 II（東京書籍）					
受講対象	・ 情報/情報技術に興味のある生徒 ・ 「情報ゼミ」を希望する生徒								
学習内容	前期 ① 情報社会の進展と情報技術 ② コミュニケーションとコンテンツ			後期 ③ 情報とデータサイエンス ④ 情報システムとプログラミング					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 小テスト 課題 ⑤ 定期考查	観点別の評価	知識・技能	多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め、技能を習得することができる。					
			思考・判断・表現	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切に活用することができる。					
			主体的に学習に取り組む態度	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画しようとしている。					
お薦め講座・備考	・ 「情報ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。 「情報II（本講座）」「情報研究2」「情報研究3」								

専門教科 情報	科目	情報研究 2		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2 年次以上で履修可能		教科書・教材等	本校作成テキスト			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」を履修済み、もしくは「情報Ⅱ」と同時履修であることが望ましい</li> <li>情報/情報技術に興味のある生徒</li> <li>「情報ゼミ」を希望する生徒</li> </ul>						
学習内容	前期 <ul style="list-style-type: none"> <li>情報技術を活用した問題解決①</li> </ul>			後期 <ul style="list-style-type: none"> <li>情報技術を活用した問題解決②</li> </ul>			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 発表 課題	観点別の評価	知識・技能	情報システム・情報コンテンツについて理解を深めるとともに、効果的に活用するための技能を習得することができる。			
			思考・判断・表現	問題を発見・分析し、解決に向けて情報と情報技術を効果的に活用することができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、粘り強く主体的に問題解決に取り組むことができる。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。  「情報Ⅱ」「情報研究 2（本講座）」「情報研究 3」</li> <li>「情報研究 2」と「情報研究 3」と「情報ゼミ 3」を同一年度に履修する場合は、同じ研究テーマは 4 単位分までとする。</li> </ul>						

専門教科 情報	科目	情報研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等	本校作成テキスト			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」を履修済み、もしくは「情報Ⅱ」と同時履修であることが望ましい</li> <li>情報/情報技術に興味のある生徒</li> <li>「情報ゼミ」を希望する生徒</li> </ul>						
学習内容	前期 情報技術を活用した自己テーマ設定問題解決①			後期 情報技術を活用した自己テーマ設定問題解決②			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 発表 課題	観点別の評価	知識・技能	情報システム・情報コンテンツについて理解を深めるとともに、効果的に活用するための技能を習得することができる。			
			思考・判断・表現	問題を発見・分析し、解決に向けて情報と情報技術を効果的に活用することができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、粘り強く主体的に問題解決に取り組むことができる。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報ゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座を受講することが望ましい。  「情報Ⅱ」「情報研究 2」「情報研究 3（本講座）」</li> <li>「情報研究 2」と「情報研究 3」と「情報ゼミ 3」を同一年度に履修する場合は、同じ研究テーマは 4 单位分までとする。</li> </ul>						

# 商業

科目名	種類	履修条件	単位数	備考
ビジネススペシック	自由選択	なし	2	
マーケティング研究2	自由選択	2年次以上	2	
マーケティング研究3	自由選択	3年次以上	2	
ビジネスアプリケーション入門	自由選択	2年次以上	2	
ビジネスアプリケーション演習	自由選択	<ul style="list-style-type: none"><li>3年次以上</li><li>「ビジネスアプリケーション入門」を履修していることが望ましい。</li><li>「ビジネスアプリケーション入門」と同時に履修しないことが望ましい。</li></ul>	2	<ul style="list-style-type: none"><li>R8開講</li><li>要事前相談</li></ul>
ビジネスコミュニケーション	自由選択	2年次以上	2	
実務簿記	自由選択	2年次以上 <ul style="list-style-type: none"><li>「実務簿記演習」との同時履修不可</li></ul>	2	
実務簿記演習	自由選択	<ul style="list-style-type: none"><li>3年次以上</li><li>「実務簿記」を履修していることが望ましい。</li><li>「実務簿記」と同時に履修しないことが望ましい。</li></ul>	2	<ul style="list-style-type: none"><li>R8開講</li><li>要事前相談</li></ul>

専門教科 商業	科目	ビジネスベーシック		種類	自由選択	単位数	2		
履修条件	なし	教科書・教材等		ビジネス基礎（実教出版）					
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の商学部・経営学部・経済学部やビジネス系の専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>・ビジネスに興味があり、卒業後就職を希望している生徒</li> <li>・ビジネスゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>								
学習内容	前期			後期					
	① ビジネスの心構え ② 経済の仕組みとビジネス ③ 経済活動と流通			④ ビジネスの種類 ⑤ ビジネスと企業 ⑥ マーケティングの重要性					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 授業内で行うテスト ⑤ 定期考查	観点別の評価	知識・技能	ビジネスに関する実践的な学習を通じて、ビジネスの場面で活用できる知識・技術を身に付けている。					
			思考・判断・表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。					
			主体的に学習に取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。					
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。            「マーケティング研究2」「マーケティング研究3」「実務簿記」「実務簿記演習」「ビジネスアプリケーション入門」「ビジネスアプリケーション演習」「ビジネスコミュニケーション」         </li> </ul>								

専門教科 商業	科目	マーケティング研究2		種類	自由選択	単位数	2			
履修条件	2年次以上で履修可能		教科書・教材等		マーケティング（実教出版）					
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の商学部・経営学部・経済学部やビジネス系の専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>・ビジネスに興味があり、卒業後就職を希望している生徒</li> <li>・ビジネスゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>									
学習内容	前期			後期						
	① マーケティングとは ② マーケティングの流れ ③ 消費者行動 ④ 市場調査（リサーチ）			⑤ セグメンテーション ⑥ ターゲティング ⑦ ポジショニング ⑧ 事例研究						
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 授業内で行うテスト	観点別の評価	知識・技能	マーケティングに関する実践的な学習を通じて、ビジネスのあらゆる場面で活用できる知識・技術を身に付けている。						
			思考・判断・表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。						
			主体的に学習に取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。						
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>★「マーケティング研究3」も併せて受講することが望ましい。</li> <li>・「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。            「ビジネスベーシック」「マーケティング研究3」「実務簿記」「実務簿記演習」「ビジネスアプリケーション入門」「ビジネスアプリケーション演習」「ビジネスコミュニケーション」         </li> </ul>									

専門教科 商業	科目	マーケティング研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等	マーケティング（実教出版）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の商学部・経営学部・経済学部やビジネス系の専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>ビジネスに興味があり、卒業後就職を希望している生徒</li> <li>ビジネスゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>						
学習内容	前期 ① 製品政策 ② 價格政策 ③ チャネル政策			後期 ① プロモーション政策 ② マーケティングの広がり ③ 事例研究			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 授業内で行うテスト	観点別の評価	知識・技能	マーケティングに関する実践的な学習を通じて、ビジネスのあらゆる場面で活用できる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。			
			主体的に学習に取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め講座・備考	★ 「マーケティング研究 2」を履修していることが望ましい。 ・ 「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。 「ビジネススペーシック」「マーケティング研究 2」「実務簿記」「実務簿記演習」「ビジネスアプリケーション入門」「ビジネスアプリケーション演習」「ビジネスコミュニケーション」						

専門教科 国語	科目	ビジネスアプリケーション 入門		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2 年次以上で履修可能		教科書・教材等	・ 学校作成課題 ・ 全商情報処理検定試験問題			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の商学部・経営学部・経済学部やビジネス系の専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>コンピュータを使ったビジネス活動に興味があり、卒業後就職を希望している生徒</li> <li>ビジネスゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>						
学習内容	前期 ① 企業活動と情報処理 ② ビジネス文書と表現 ③ ワープロの操作と入力方法 ④ 基本文書の作成			後期 ⑤ 情報の集計と分析 ⑥ 関数を利用した表の作成 ⑦ グラフの作成 ⑧ 情報の整列・検索・抽出			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 授業内で行うテスト	観点別の評価	知識・技能	コンピュータを活用したビジネスに関する実践的な学習を通じて、様々なビジネスシーンで活用できる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・表現	問題と課題を発見し、コンピュータを活用し解決を図ることができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め講座・備考	★ 本科目履修後、「ビジネスアプリケーション演習」も併せて受講することが望ましい。 ・ 「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。 「ビジネススペーシック」「マーケティング研究 2」「マーケティング研究 3」「実務簿記」「実務簿記演習」「ビジネスアプリケーション演習」「ビジネスコミュニケーション」						

専門教科 商業	科目	ビジネスアプリケーション 演習		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年次以上で履修可能</li> <li>「ビジネスアプリケーション入門」を履修していることが望ましい。</li> </ul>		教科書・教材等	学校作成課題 全商情報処理検定試験問題集			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の商学部・経営学部・経済学部やビジネス系の専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>ビジネスやコンピュータを使ったビジネス活動に興味があり、卒業後就職を希望している生徒</li> <li>ビジネスゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>						
学習内容	前期 ① ビジネスにおけるソフトウェアの活用 ② 応用文章の作成 ③ 表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析 ④ ビジネス課題実践 1			後期 ⑤ プレゼンテーションの技法 ⑥ ビジネスにおけるプレゼンテーション ⑦ プレゼンテーションソフトウェアの活用 ⑧ ビジネス課題実践 2			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 授業内で行うテスト	観点別の評価	知識・技能	コンピュータを活用したビジネスに関する実践的な学習を通じて、様々なビジネスシーンで活用できる知識・技術を身に付けています。			
			思考・判断・表現	問題と課題を発見し、コンピュータを活用し解決を図ることができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	限られる資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 「ビジネスアプリケーション入門」と同時に履修しないことが望ましい。</li> <li>★ R8年度新設科目</li> <li>・ 「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。            「ビジネススペーシック」「マーケティング研究2」「マーケティング研究3」「実務簿記」「実務簿記演習」「ビジネスアプリケーション入門」「ビジネスコミュニケーション」</li> <li>● 事前に担当者まで相談に来ること。</li> </ul>						

専門教科 商業	科目	ビジネスコミュニケーション		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能		教科書・教材等	ビジネス・コミュニケーション（実教出版）			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスに興味があり、将来の就職に備えたい生徒。特に卒業後就職を希望している生徒</li> <li>ビジネスゼミへの参加を希望している生徒</li> <li>ビジネス資格を取得したい生徒（ビジネスコミュニケーション検定）</li> </ul>						
学習内容	前期 ① 企業の組織と人間関係 ② 応対に関するビジネスマナー ③ 交際と接客に関するビジネスマナー			後期 ④ ビジネスにおけるコミュニケーション ⑤ ビジネス文書の作成			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 授業内で行うテスト	観点別の評価	知識・技能	ビジネスに関する実践的な学習を通じて、様々なビジネスシーンで活用できる知識・技術を身に付けています。			
			思考・判断・表現	問題と課題を発見し、解決を図ることができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	限られる資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の就職に備えたい生徒、卒業後就職を希望している生徒は履修することが望ましい。</li> <li>「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。            「ビジネススペーシック」「マーケティング研究2」「マーケティング研究3」「実務簿記」「実務簿記演習」「ビジネスアプリケーション入門」「ビジネスコミュニケーション演習」         </li> </ul>						

専門教科 商業	科目	実務簿記		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年次以上で履修可能</li> </ul>		教科書・教材等	新簿記（実教出版） 電卓を各自で準備			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の経営に関心のある生徒</li> <li>大学の商学部・経営学部・経済学部やビジネス系の専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>卒業後、就職を希望している生徒</li> </ul> <p>※『実務簿記入門』『青色申告入門』を履修済みの場合は選択できません。</p>						
学習内容	前期 ① 簿記のしくみ ② 資産・負債・純資産 ③ 収益と費用 ④ 仕訳と転記 ⑤ 取引の記帳			後期 ① 決算とは ② 決算整理 ③ 精算表の作成 ④ 損益計算書の作成 ⑤ 貸借対照表の作成			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 授業内で行うテスト	観点別の評価	知識・技能	簿記に関する実践的な学習を通じて、ビジネスのあらゆる場面で活用できる知識・技術を身に付けている。			
思考・判断・表現			当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。				
主体的に学習に取り組む態度			限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。				
お薦め講座・備考	★ 簿記検定取得には次年度以降に「実務簿記演習」も併せて受講することが望ましい。 ・ 「実務簿記演習」と同時に履修しないことが望ましい。 ・ 簿記検定試験3級範囲の知識・技術が身に付きます。 ・ 「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。 「ビジネススペーシック」「マーケティング研究2」「マーケティング研究3」「実務簿記演習」「ビジネスアプリケーション入門」「ビジネスアプリケーション演習」「ビジネスコミュニケーション」						

専門教科 商業	科目	実務簿記演習		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年次以上で履修可能</li> <li>「実務簿記」を履修していることが望ましい。</li> <li>「実務簿記」と同時に履修しないことが望ましい。</li> </ul>		教科書・教材等	新簿記（実教出版） 電卓を各自で準備			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の経営に関心のある生徒</li> <li>商学部・経営学部・経済学部やビジネス系の専門学校に進学を希望している生徒</li> <li>卒業後、就職を希望している生徒</li> </ul>						
学習内容	前期 ① その他の債権・債務の取引 ② 固定資産の取引 ③ 個人企業の資本の取引 ④ 販売費と一般管理費、税金の取引			後期 ⑤ 決算整理（その1） ⑥ 8桁精算表 ⑦ 帳簿決算 ⑧ 会計帳簿 ⑨ 伝票の利用 ⑩ 特殊な手形の取引 ⑪ 有価証券の取引 ⑫ 本支店会計			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 授業内で行うテスト	観点別評価	知識・技能	簿記に関する実践的な学習を通じて、ビジネスのあらゆる場面で活用できる知識・技術を身に付けている。			
思考・判断・表現			当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。				
主体的に学習に取り組む態度			限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。				
お薦め講座・備考	★R8年度新設科目 ★「実務簿記」と同時に履修しないことが望ましい。 ・ 簿記検定試験3級範囲の知識・技術が身に付きます。 ・ 「ビジネスゼミ」に参加を希望する場合は、以下の講座も受講することが望ましい。 「ビジネススペーシック」「マーケティング研究2」「マーケティング研究3」「実務簿記」「ビジネスアプリケーション入門」「ビジネスアプリケーション演習」「ビジネスコミュニケーション」 ● 事前に担当者まで相談に来ること。						

# 総合

科目名	種類	履修条件	単位数	備考
産業社会と人間	学校必履修	なし (1年次指定科目)	2	
ゼミナール2	学校必履修	なし (2年次指定科目)	1	
ゼミナール3	学校必履修	なし (3年次指定科目)	2	
ゼミナール4	学校必履修	なし (4年次指定科目)	2	
日本の伝統文化	自由選択	なし	2	教材費 12,000円程度
演劇入門	自由選択	2年次以上	2	
映像研究2	自由選択	2年次以上	2	教材費 3,000円程度
映像研究3	自由選択	3年次以上	2	教材費 3,000円程度
デザイン研究2	自由選択	2年次以上	2	教材費 3,000円程度
デザイン研究3	自由選択	3年次以上	2	教材費 10,000円程度
ローン・映像入門	自由選択	2年次以上	2	
売り手と買い手	自由選択	2年次以上	2	
SDGs入門	自由選択	なし	2	

専門教科 総合	科目	産業社会と人間		種類	学校必履修	単位数	2		
履修条件	なし（1年次指定科目）	教科書・教材等		本校作成テキスト					
受講対象	・ 1年次に全員がクラスごとに履修								
学習内容	前期			後期					
	① グループエンカウンター ② jobtag（職業興味検査） ③ 学ぶ意義の理解 ④ 本物体験の事前学習 ⑤ 本物体験の成果発表			⑥ 将来設計（履修登録、履修相談） ⑦ 柱となる科目体験 ⑧ 社会を知る（社会の変化、ビジネススキル） ⑨ ラーニングプラン（学びの計画作り） ⑩ 学習成果発表会準備					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題提出状況	観点別の評価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。					
			思考・判断・表現	将来の職業生活に必要なコミュニケーション能力を養い、在学中の科目選択や進路計画を立てる力を身に付けようとしている。					
			主体的に学習に取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。					
お薦め講座・備考	・ フューチャーデザイニング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 2年次「フューチャーデザイニング2」「ゼミナール2」「人間と社会」 3年次「フューチャーデザイニング3」「ゼミナール3」 4年次「フューチャーデザイニング4」「ゼミナール4」を履修し、各自の自己実現を図ります。								

専門教科 総合	科目	ゼミナール2		種類	学校必履修	単位数	1		
履修条件	なし（2年次指定科目）	教科書・教材等		本校作成テキスト					
受講対象	・ 2年次に全員がクラスごとに履修								
学習内容	前期			後期					
	(プレ課題研究) ① テーマ理解の練習 ② 情報や意見の共有 ③ 芽吹祭発表準備			(プレ課題研究) ④ 各教科から示されるテーマでの「プレ課題研究」 ⑤ 研究報告作成 ⑥ 研究発表 ⑦ ゼミ3での課題研究テーマ検討					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題提出状況	観点別の評価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。					
			思考・判断・表現	将来に必要なコミュニケーション能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。					
			主体的に学習に取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。					
お薦め講座・備考	・ フューチャーデザイニング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 1年次「産業社会と人間」 2年次「フューチャーデザイニング2」「人間と社会」 3年次「フューチャーデザイニング3」「ゼミナール3」 4年次「フューチャーデザイニング4」「ゼミナール4」を履修し、各自の自己実現を図ります。								

専門教科 総合	科目	ゼミナール3		種類	学校必履修	単位数	2
履修条件	なし（3年次指定科目）		教科書・教材等	本校作成テキスト			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自が選択したゼミで全員が履修する。</li> </ul>						
学習内容	前期 ① 課題研究の開始 ② 研究データの収集（調査・実験など） ③ 研究状況の確認・整理・共有 ④ 芽吹祭中間発表			後期 ⑤ 研究の仕上げに向けた再調査・再実験など ⑥ 論文・プレゼン動画の作成 ⑦ 課題研究の成果発表			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題提出状況	観点別の評価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・表現	将来に必要な課題解決能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。			
			主体的に学習に取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探求して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>フューチャーデザイニング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 1年次「産業社会と人間」 2年次「フューチャーデザイニング2」「ゼミナール2」「人間と社会」 3年次「フューチャーデザイニング3」 4年次「フューチャーデザイニング4」「ゼミナール4」を履修し、各自の自己実現を図ります。</li> </ul>						

専門教科 総合	科目	ゼミナール4		種類	学校必履修	単位数	2
履修条件	なし（4年次指定科目）		教科書・教材等	本校作成テキスト			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自が選択したゼミで全員が履修する。</li> </ul>						
学習内容	前期 ゼミ3での課題研究をベースに探究を深める ① 課題研究の開始 ② 研究データの収集（調査・実験など） ③ 研究状況の確認・整理・共有 ④ 芽吹祭中間発表			後期 ⑤ 研究の仕上げに向けた再調査・再実験など ⑥ 論文・プレゼン動画の作成 ⑦ 課題研究の成果発表			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題提出状況	観点別の評価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・表現	将来に必要な課題解決能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。			
			主体的に学習に取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探求して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>フューチャーデザイニング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 1年次「産業社会と人間」 2年次「フューチャーデザイニング2」「ゼミナール2」「人間と社会」 3年次「フューチャーデザイニング3」「ゼミナール3」 4年次「フューチャーデザイニング4」を履修し、各自の自己実現を図ります。</li> </ul>						

専門教科 総合	科目	日本の伝統文化		種類	自由選択	単位数	2		
履修条件	なし	教科書・教材等		本校作成テキスト 教材費12,000円程度					
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>TPOに応じたマナーを身に付けたい生徒</li> <li>他者を思いやる気持ちや協調性を身に付けたい生徒</li> <li>日本の伝統や文化を学びたい生徒</li> </ul>								
学習内容	前期			後期					
	① 伝統工芸を学ぶ・体験する ② 落語を学ぶ・体験する ③ 能・狂言を学ぶ・体験する ④ 体験についてのまとめ・発表など			⑤ 歌舞伎を鑑賞する ⑥ 華道を学ぶ・体験する ⑦ 茶道を学ぶ・体験する ⑧ 学んだ成果のまとめ・発表など					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題の提出状況	観点別の評価	知識・技能	日本の伝統と文化の体験を通じて日本の歴史文化を学び、得た知識・技術をまとめ整理することができる。					
			思考・判断・表現	得た知識・技術をまとめ整理し、他者が理解できるように内容を精査し伝え表現することができる。					
			主体的に学習に取り組む態度	日本の伝統と文化について探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。					
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>正座もふくめた様々な作法を体験します。</li> </ul>								

専門教科 総合	科目	演劇入門		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能		教科書・教材等		本校作成テキスト		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者を思いやる気持ちや協調性を身に付けたい生徒</li> <li>自己の気持ちを表現する方法やコミュニケーションの取り方等を学びたい生徒</li> </ul>						
学習内容	前期			後期			
	① 体で表現する ② 詩や物語の朗読、対話文 ③ 演劇鑑賞 ④ 既成台本の読み通し ⑤ 発声練習			① キャストの決定と稽古 ② 舞台稽古・舞台設営・小道具衣装製作 ③ 本番・事後振り返りと年間まとめ ④ 発声練習			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み 集中度 ③ 課題の提出状況 ④ 発表	観点別の評価	知識・技能	「表現をする活動」を通じて自己の気持ちを表現する方法やコミュニケーションの取り方等を学ぶ。			
			思考・判断・表現	得た知識・技術をまとめ整理し、他者が理解できるように内容を精査し伝え表現することができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	表現方法について探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師の先生によって学習内容が変わる場合があります。</li> </ul>						

専門教科 総合	科目	映像研究 2		種類	自由選択	単位数	2			
履修条件	2 年次以上で履修可能		教科書・教材等	教材費 3,000 円程度 各自の制作で必要な材料は用意してください。						
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像について学び、動画作成や編集作業に興味のある生徒</li> <li>パソコンを使用して映像表現することに興味関心があり、さらにプレゼンテーション力を高めたい生徒</li> <li>絵をかいたり、創造したりすることに興味がある生徒</li> <li>グループで撮影したり、お互いに発表したりします。</li> </ul>									
学習内容	前期 ① 映像表現の基本を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラパラマンガとアニメーションの作画制作</li> <li>・使用する機材・コンピュータソフトの使用方法について</li> <li>・アニメーション鑑賞</li> </ul>				後期 ② 動画制作 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実写撮影について</li> <li>・インタビュー撮影の企画実践</li> <li>・コマ撮りアニメーション制作</li> <li>・コマーシャル (CM)制作</li> </ul>					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題の提出状況	観点別の評価	知識・技能	映像表現に関する学習を通じて、自ら主体的に制作に取り組み、動画編集ができる知識・技術を身に付けている。						
			思考・判断・表現	動画を効果的に表現する力を身に付け、他者を理解し他者と協力しながら計画を立てて実行することができる。						
			主体的に学習に取り組む態度	動画を効果的に活用する方法を探求して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。						
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 15 名</li> <li>映像で伝える表現について学びます。絵コンテを描きながら創造して考え、動きや音を加えながら映像を制作します。完成したら発表してお互いに作品鑑賞をします。</li> <li>アニメーション制作では絵を描き、コンピュータで動画にしていくので、イラストを描くことや、パソコン操作に興味があると良い。</li> <li>「映像研究 3」につながる専門性ある授業と研究です。コンピュータの動画編集ソフト「アドビプレミア」等を使用するのでパソコン操作がある程度慣れている必要があります。</li> </ul>									

専門教科 総合	科目	映像研究 3		種類	自由選択	単位数	2			
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等	教材費 3,000 円程度 各自で研究制作に必要な材料は用意してください。						
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>「映像研究 2」を履修修得していることが望ましい。</li> <li>映像について学び、動画作成や編集作業に興味のある生徒</li> <li>パソコンを使用して映像表現することに興味関心があり、さらにプレゼンテーション力を高めたい生徒</li> <li>絵をかいたり、創造したりすることに興味がある生徒</li> <li>グループで撮影したり、お互いに発表したりします。</li> </ul>									
学習内容	前期 ① 動画制作 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コマ撮りアニメーション制作</li> <li>・コマーシャル (CM)制作</li> <li>・アニメーション鑑賞と講義</li> </ul>				後期 ② 映像制作に関する課題を研究し、制作をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの動画制作</li> <li>・テーマにそった撮影と動画編集</li> </ul>					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題の提出状況	観点別の評価	知識・技能	映像表現に関する学習を通じて、自ら主体的に制作に取り組み、動画編集ができる知識・技術を身に付けている。						
			思考・判断・表現	動画を効果的に表現する力を身に付け、他者を理解し他者と協力しながら計画を立てて実行することができる。						
			主体的に学習に取り組む態度	動画を効果的に活用する方法を探求して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付け、発表しようとしている。						
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 15 名</li> <li>映像制作をグループや個人でおこなった後に、各自の映像研究に入ります。途中経過の発表・講評があり、完成後は展示及び上映会と成果を発表します。鑑賞ではアニメーションや映画を見て、講義と意見交換や発表をおこないます。</li> <li>「映像研究 2」を履修修得した生徒対象の専門性の高い授業になります。コンピュータの動画編集ソフト「アドビプレミア」等を使用するのでパソコン操作がある程度慣れている必要があります。</li> </ul>									

専門教科 総合	科目	デザイン研究 2		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2 年次以上で履修可能		教科書・教材等	教材費 3,000 円程度 各自の制作で必要な材料は用意してください。			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンを使用してデザインを考え制作することに興味関心があり、さらにプレゼンテーション力を高めたい生徒</li> <li>写真で表現することに興味があり、冊子制作などの編集に興味がある生徒</li> <li>一眼レフカメラに興味がある生徒。</li> </ul>						
学習内容	前期 ① 写真とその画像処理について学ぶ。 写真表現の研究と学びについて ② 写真集制作 編集デザインとレイアウト			後期 ③ 写真撮影を通して自己表現と写真表現について学ぶ。 ・自己と写真表現の研究 ・一眼レフカメラ使用方法と写真撮影技術			
評価・評定の方法	④ 出席状況 ⑤ 授業への取り組み ⑥ 課題の提出状況	観点別の評価	知識・技能	写真や編集デザインに関する学習を通じて、自ら主体的に制作に取り組み、パソコンを使用して制作ができる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・表現	写真表現で効果的に自己表現する力を身に付け、他者を理解し他者と協力しながら計画を立てて実行することができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	写真を効果的に活用する方法を探求して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 15 名</li> <li>写真表現と編集デザインについて学びます。パソコンを使用しての制作が中心です。</li> <li>「デザイン研究 3」につながる専門性ある授業と研究です。コンピュータの編集ソフト「アドビイラストレータ」「アドビフォトショップ」等を使用するのでパソコン操作がある程度慣れている必要があります。</li> </ul>						

専門教科 総合	科目	デザイン研究 3		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	3 年次以上で履修可能		教科書・教材等	教材費 10,000 円程度 各自で研究制作に必要な材料は用意してください。			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>「デザイン研究 2」を履修修得していることが望ましい。</li> <li>パソコンを使用してデザインを考え制作することに興味関心があり、さらにプレゼンテーション力を高めたい生徒</li> <li>写真で表現することに興味があり、冊子制作などの編集に興味がある生徒</li> <li>一眼レフカメラに興味がある生徒。</li> </ul>						
学習内容	前期 写真や編集デザインに関する課題を研究し、制作をします。 ① 写真表現の講義と研究 ・世界の写真家の写真表現について ② 写真集制作 ・編集デザインとレイアウト			後期 ③ 編集デザイン（冊子制作） 各自が設定した課題を研究し制作をします。 完成したら成果を発表し、展示をおこないます。			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題の提出状況	観点別の評価	知識・技能	写真や編集デザインに関する学習を通じて、自ら主体的に制作に取り組み、パソコンを使用して制作ができる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・表現	写真表現で効果的に自己表現する力を身に付け、他者を理解し他者と協力しながら計画を立てて実行することができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	写真を効果的に活用する方法を探求して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定員 15 名</li> <li>各自で主体的に写真や編集デザインをパソコンを使用して制作・研究をします。</li> <li>意見交換や発表や講評を行なながら制作をします。完成後はプレゼンテーションと展示をして成果を発表します。</li> <li>「デザイン研究 2」を履修修得した生徒対象の専門性の高い授業になります。コンピュータの編集ソフト「アドビイラストレータ」「アドビフォトショップ」等を使用するのでパソコン操作がある程度慣れている必要があります。</li> </ul>						

専門教科 総合	科目	ドローン・映像入門		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能		教科書・教材等	本校作成テキスト			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローンに興味のある生徒</li> <li>動画作成・編集に興味のある生徒</li> <li>効果的に動画作成・配信をし、プレゼンテーション力を高めたい生徒</li> </ul>						
学習内容	前期			後期			
	① ドローンの操作方法 ② ドローンに関する知識（法律を中心に）			③ 映像配信に関する知識（法律を中心に） ④ 簡単な動画編集 ⑤ 映像配信の方法を学ぶ			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題の提出状況 ④ 小テスト	観点別の評価	知識・技能	ドローンや映像配信に関する学習を通じ、法令に則り自ら主体的にドローン操作や動画編集・配信ができる知識・技術を身に付けている。			
			思考・判断・表現	ドローンや撮影した動画を効果的に活用する力を身に付け、他者を理解し他者と協力しながら計画を立て実行することができる。			
			主体的に学習に取り組む態度	ドローンや撮影した動画を効果的に活用する方法を探求して、生涯にわたって学習し、学びに取り組む力を身に付けようとしている。			
お薦め講座・備考							

専門教科 総合	科目	売り手と買い手		種類	自由選択	単位数	2
履修条件	2年次以上で履修可能		教科書・教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校作成テキスト</li> <li>事例探究ワークブック ビジネス編（実教出版）</li> </ul>			
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスゼミや生活ゼミへの参加を希望している生徒</li> </ul>						
学習内容	前期			後期			
	① 売り手(生産者)と買い手(消費者)とは ② 消費生活の役割 ③ 消費者被害と消費者の権利・責任 ④ 消費生活の安全と自由			⑤ 生産者と法（P L法を中心に） ⑥ 消費者契約と法 ⑦ 事例研究			
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 提出物 ④ 授業内で行う小テスト	観点別の評価	知識・技能	ものごとを売り手側（生産者）と買い手側（消費者）の視点から学び、得た知識・技術をまとめ整理することができる。			
			思考・判断・表現	売り手側・買い手側それからの当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。			
			主体的に学習に取り組む態度	限りある資源を創意工夫しながら活用し、様々な方面にアンテナを張り、チャンスを逃さない姿勢を保ち、これまでの経験以上の機会を追求しようとしている。			
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネス系列の科目や生活の科目を履修することをお勧めします。</li> </ul>						

専門教科 総合	科目	SDGs 入門		種類	自由選択	単位数	2		
履修条件	なし	教科書・教材等		本校作成テキスト					
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGsに興味のある生徒</li> <li>・ 世界情勢や外国や日本の文化を探究したい生徒</li> </ul>								
学習内容	<p>前期</p> <p>① SDGsの考え方、歴史的背景 ② 17の目標と169のターゲットについて (世界と日本におけるSDGsの達成状況)</p>			<p>後期</p> <p>② 17の目標と169のターゲットについて (世界と日本におけるSDGsの達成状況) ③ 演習と成果発表</p>					
評価・評定の方法	<p>① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題の提出状況</p>	観点別の評価	知識・技能	SDGsに関する学習を通じて、17の目標と169のターゲットについて理解し、世界情勢や日本の状況を理解する力を身に付けている。					
			思考・判断・表現	当事者意識を持ち、他者を理解し他者と協力しながら目標を達成するための計画を立て実行できる。					
			主体的に学習に取り組む態度	SDGsの考え方、歴史的背景、世界情勢や日本の状況等、学びに取り組む力を身に付けようとしている。					
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代が抱える「社会的課題」が何であるかを深く知ることができます。この「社会的課題」の解決に向けた調査研究を行うのが「ゼミナール」の授業です。課題研究の内容を探す際のヒントとなる講座もあります。</li> </ul>								

# 人間と社会

## 総合的な探究の時間

科目名	種類	履修条件	単位数	備考
人間と社会	学校必履修	なし (2年次指定科目)	1	
フューチャーデザイニング2	必履修	なし (2年次指定科目)	1	
フューチャーデザイニング3	必履修	なし (3年次指定科目)	1	
フューチャーデザイニング4	必履修	なし (4年次指定科目)	1	

人間と社会		科目	人間と社会		種類	学校必履修	単位数	1				
履修条件	2年次指定科目		教科書・教材等		'人間と社会'教科書 本校作成テキスト							
受講対象	・ 2年次に全員がクラスごとで履修											
学習内容	前期  ① 自己理解、他者理解 ② 学ぶこと・働くことの意義 ③ 体験学習				後期  ④ 地域社会を築く ⑤ 社会と人生を見つめる ⑥ これからの生き方 ⑦ 体験学習							
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題の提出状況	観点別の評価	知識・技能	周りの人との関わりを通して探究の方法を身に付ける他、様々な課題に対して知識を活用して考える力が身に付いている。								
			思考・判断・表現	自分の意思で課題を見出し、情報を集めて考えたり話し合ったりして探究を進め、自分なりの答えを導き出そうとしている。								
			主体的に学習に取り組む態度	自分自身の生き方を充実させようとする態度や、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けようとしている。								
お薦め講座・備考	・ フューチャーデザイニング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 1年次「産業社会と人間」 2年次「フューチャーデザイニング2」「ゼミナール2」 3年次「フューチャーデザイニング3」「ゼミナール3」 4年次「フューチャーデザイニング4」「ゼミナール4」 …を履修し、各自の自己実現を図ります。											

総合的な探究の時間		科目	フューチャーデザイニング2		種類	必履修	単位数	1				
履修条件	2年次指定科目		教科書・教材等		本校作成テキスト							
受講対象	・ クラスごとに全員が履修する											
学習内容	前期  (プレ課題研究) ① 情報の集め方 ② 問いの整理 ③ テーマ設定の練習 ④ 芽吹祭発表準備				後期  (進路学習) ① 将来設計（履修計画・将来像の構築） ② ゼミ選択 ③ 進路ガイダンス							
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題の提出状況	観点別の評価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けています。								
			思考・判断・表現	将来に必要な課題解決能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。								
			主体的に学習に取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。								
お薦め講座・備考	・ フューチャーデザイニング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 1年次「産業社会と人間」 2年次「ゼミナール2」「人間と社会」 3年次「フューチャーデザイニング3」「ゼミナール3」 4年次「フューチャーデザイニング4」「ゼミナール4」 …を履修し、各自の自己実現を図ります。											

総合的な探究の時間	科目	フューチャーデザイニング3	種類	必履修	単位数	1
履修条件	3年次指定科目		教科書・教材等	本校作成テキスト		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスごとに全員が履修する</li> </ul>					
学習内容	前期			後期		
	① 進路選択と将来について ② 志望理由を書く ③ 面接練習			④ 履歴書を書く ⑤ 学修計画書を書く ⑥ グループディスカッション		
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題の提出状況	観点別の評価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。		
			思考・判断・表現	将来に必要な課題解決能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。		
			主体的に学習に取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。		
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フューチャーデザイニング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 1年次「産業社会と人間」 2年次「フューチャーデザイニング2」「ゼミナール2」「人間と社会」 3年次「ゼミナール3」 4年次「フューチャーデザイニング4」「ゼミナール4」…を履修し、各自の自己実現を図ります。</li> </ul>					

総合的な探究の時間	科目	フューチャーデザイニング4	種類	必履修	単位数	1
履修条件	4年次指定科目		教科書・教材等	本校作成テキスト		
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスごとに全員が履修する</li> </ul>					
学習内容	前期			後期		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実現への取り組み</li> </ul>					
評価・評定の方法	① 出席状況 ② 授業への取り組み ③ 課題の提出状況	観点別の評価	知識・技能	選択決定するために必要な学習を通じて、自ら主体的に選択できる知識・技術を身に付けている。		
			思考・判断・表現	将来に必要な課題解決能力を養い、他者と意見を共有しながらテーマを理解し、研究計画を立てる力を身に付けようとしている。		
			主体的に学習に取り組む態度	自己の進路適性、充実、生き甲斐を探究して、生涯にわたって学びに取り組む力を身に付けようとしている。		
お薦め講座・備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フューチャーデザイニング（未来設計）を構成する科目のひとつです。 1年次「産業社会と人間」 2年次「フューチャーデザイニング2」「ゼミナール2」「人間と社会」 3年次「フューチャーデザイニング3」「ゼミナール3」 4年次「ゼミナール4」…を履修し、各自の自己実現を図ります。</li> </ul>					

